

令和 3 年度  
公益財団法人神戸市民文化振興財団事業概要

文化スポーツ局



# 目 次

I	神戸市民文化振興財団設立の趣旨	1
II	神戸市民文化振興財団の概要	
1	名 称	2
2	設 立 年 月 日	2
3	所 在 地	2
4	基 本 財 産	2
5	機 構	2
6	職 員 数	3
7	役 員 等	4
III	定 款	5
IV	令和 2 年度事業報告	
1	概 要	11
2	事業の実施状況	13
3	令和 2 年度決算	41
V	令和 3 年度事業計画	
1	概 要	48
2	事業計画	50
3	経営改善の取り組み	67
4	令和 3 年度予算	68
VI	令和 2 年度主要事業計画・実績比較表	73
VII	主要事業の推移(平成 30 年度～令和 2 年度)	74



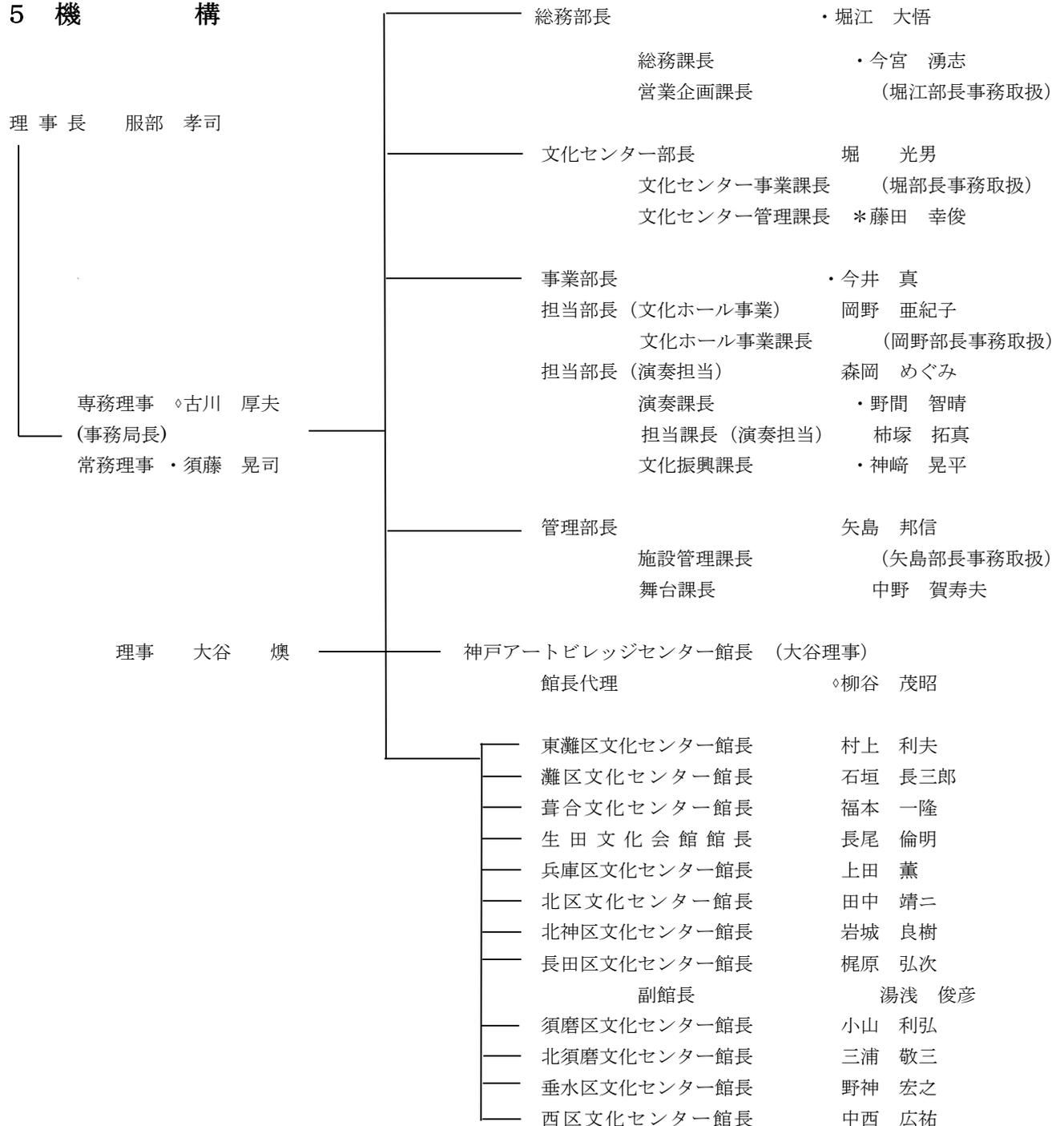
## I 神戸市民文化振興財団設立の趣旨

心の豊かさを内包した生活の質向上を求めようとする市民の幅広い多様な文化的欲求に対応し、神戸文化を育て、自由な発想にもとづく文化活動の豊かな展開をすすめるため、神戸市民文化振興財団を設立したものである。

## II 神戸市民文化振興財団の概要

- 1 名 称 公益財団法人 神戸市民文化振興財団
- 2 設 立 年 月 日  
 設立許可 昭和 57 年 10 月 1 日  
 設立登記 昭和 57 年 10 月 1 日  
 公益財団法人移行登記 平成 24 年 4 月 1 日
- 3 所 在 地 神戸市中央区楠町 4 丁目 2 番 2 号
- 4 基 本 財 産 216,910 千円（神戸市出捐 100,000 千円 46.1%）

### 5 機 構



(注) ・は神戸市派遣職員、\*は神戸市再任用職員、◇は神戸市嘱託職員

## 6 職員数

(令和3年7月1日現在)

所 属	理事長	専務理事 事務局長	常務理事	部 長 ・ 館 長	課 長	係 員	計
総 務 部	1	1	1 ( 1 )	1 ( 1 )	1 ( 1 )	9	14 ( 3 )
文化センター部				1	1 ( 1 )	7	9 ( 1 )
事 業 部				3 ( 1 )	3 ( 2 )	15 ( 1 )	21 ( 4 )
管 理 部				1	1	7	9
神戸アート ビレッジ センター				1		10	11
東灘区文化 センター				1		3	4
灘区文化 センター				1		4	5
葺合文化 センター				1		2	3
生田文化 会館				1		3	4
兵庫区文化 センター				1		3	4
北区文化 センター				1		3	4
北神区文化 センター				1		2	3
長田区文化 センター				1	1	4	6
須磨区文化 センター				1		3	4
北須磨文化 センター				1		3	4
垂水区文化 センター				1		3	4
西区文化 センター				1		2	3
合 計	1	1 ( 1 )	1 ( 1 )	19 ( 2 )	7 ( 4 )	83 ( 1 )	112 ( 8 )

※ ( ) は、人数のうち、神戸市派遣職員数。

## 7 役員等

### (1) 評議員

(令和3年7月1日現在)

役職名	氏名	所属
評議員	伊藤綱太郎	日本放送協会神戸放送局長
評議員	井上和世	声楽家
評議員	加藤隆久	神戸芸術文化会議議長
評議員	加藤久雄	神戸市文化スポーツ局長
評議員	佐藤友美子	追手門学院大学地域創造学部地域創造学部教授
評議員	玉岡かおる	作家
評議員	富田健司	一般社団法人神戸経済同友会代表幹事
評議員	矢崎和彦	株式会社フェリシモ代表取締役社長
評議員	山本孝子	神戸市婦人団体協議会会長
評議員	山本裕之	神戸親和女子大学発達教育学部児童教育学科教授

### (2) 理事・監事

役職名	氏名	所属
理事長	服部孝司	
専務理事	古川厚夫	
常務理事	須藤晃司	(神戸市文化スポーツ局 担当部長)
理事	伊藤紀美子	田嶋株式会社代表取締役社長
理事	植松奎二	彫刻家
理事	大谷 燠	特定非営利活動法人DANCE BOX代表
理事	木田聖子	株式会社チャイルドハート代表取締役社長
理事	道満雅彦	オリバーソース株式会社代表取締役社長
理事	西田真人	日本画家
理事	藤野一夫	公立大学法人芸術文化観光専門職大学副学長
理事	宮本慶子	兵庫県音楽活動推進会議代表
理事	山本亮三	公益財団法人兵庫県芸術文化協会理事長
監事	清水好央	税理士
監事	中嶋展也	弁護士

### Ⅲ 定款

#### 公益財団法人神戸市民文化振興財団定款

(名称)

第1条 この法人は、公益財団法人神戸市民文化振興財団と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、主たる事務所を兵庫県神戸市に置く。

#### 第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、神戸市民の文化活動の振興に資する事業を行い、もって個性豊かな魅力ある神戸文化の創造に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 市民の生活文化活動及び芸術文化活動の振興
- (2) 市民の国際文化交流の促進
- (3) 市民文化の振興に係る情報の収集及び提供
- (4) 文化施設の管理運営
- (5) 神戸市室内管弦楽団及び神戸市混声合唱団の運営
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業

2 前項各号の事業は、兵庫県において行うものとする。

#### 第3章 資産及び会計

(基本財産)

第5条 この法人の目的である事業を行うために不可欠な別表の財産は、この法人の基本財産とする。

2 基本財産は、この法人の目的を達成するために善良な管理者の注意をもって管理しなければならないが、基本財産の一部を処分しようとするとき及び基本財産から除外しようとするときは、あらかじめ理事会及び評議員会の承認を要する。

(事業年度)

第6条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第7条 この法人の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類については、毎事業年度開始の日の前日までに、理事長(第21条に規定する理事長をいう。以下同じ。)が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 前項の書類については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第8条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- (1) 事業報告
- (2) 事業報告の附属明細書
- (3) 貸借対照表
- (4) 正味財産増減計算書
- (5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書
- (6) 財産目録

2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- (1) 監査報告
- (2) 理事及び監事並びに評議員の名簿
- (3) 理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- (4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第9条 理事長は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則（平成19年内閣府令第68号）第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第3項第4号の書類に記載するものとする

#### 第4章 評議員

(評議員の定数)

第10条 この法人に評議員8名以上12名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第11条 評議員の選任及び解任は、評議員選定委員会（以下「委員会」という。）において行う。

2 委員会は、評議員1名、監事1名、事務局員1名、次項の定めに基づいて選任された外部委員2名の合計5名で構成する。

3 委員会の外部委員は、次のいずれにも該当しない者を理事会において選任する。

- (1) この法人又は関連団体（主要な取引先及び重要な利害関係を有する団体を含む。以下同じ。）の業務を執行する者又は使用人
- (2) 過去に前号に規定する者となったことがある者
- (3) 第1号又は前号に該当する者の配偶者、3親等内の親族、使用人（過去に使用人となった者も含む。）

4 委員会に提出する評議員候補者は、理事会又は評議員会がそれぞれ推薦することができる。委員会の運営についての細則は、理事会において定める。

5 委員会に評議員候補者を推薦する場合には、次の事項のほか、当該候補者を評議員として適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

- (1) 当該候補者の経歴
- (2) 当該候補者を候補者とした理由
- (3) 当該候補者とこの法人及び役員等（理事、監事及び評議員）との関係
- (4) 当該候補者の兼職状況

6 委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。ただし、外部委員の1名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。

7 委員会は、前条で定める評議員の定数を欠くこととなるときに備えて、補欠の評議員を選任することができる。

8 前項の場合には、委員会は、次の事項も併せて決定しなければならない。

- (1) 当該候補者が補欠の評議員である旨
- (2) 当該候補者を1名又は2名以上の特定の評議員の補欠の評議員として選任するときは、その旨及び当該特定の評議員の氏名
- (3) 同一の評議員（2名以上の評議員の補欠として選任した場合にあっては、当該2名以上の評議員）につき2名以上の補欠の評議員を選任するときは、当該補欠の評議員相互間の優先順位

9 第7項の補欠の評議員の選任に係る決議は、当該決議後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで、その効力を有する。

(評議員の任期)

第12条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

2 任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。

3 評議員は、第10条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬等)

第13条 評議員に対して、各年度の総額が100万円を越えない範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 評議員には、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。この場合の支給基準については、評議員会の決議を経て、別に定める。

## 第5章 評議員会

(構成)

第14条 評議員会は、すべての評議員をもって構成する。

(権限)

第15条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任及び解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
- (5) 定款の変更
- (6) 残余財産の処分
- (7) 基本財産の処分又は除外の承認
- (8) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第16条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第17条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(議長)

第18条 評議員会の議長は、評議員会において、出席した評議員の中から選出する。

(決議)

第19条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

- (1) 監事の解任
- (2) 評議員に対する報酬等の支給の基準
- (3) 定款の変更
- (4) 基本財産の処分又は除外の承認
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第21条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議事録)

第20条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び出席した評議員のうち評議員会において選出された2名が、前項の議事録に記名押印する。

## 第6章 役員

(役員の設定)

第21条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 8名以上12名以内
  - (2) 監事 2名以内
- 2 理事のうち1名を理事長とする。
  - 3 理事長以外の理事のうち、1名を専務理事及び2名以内を常務理事とすることができる。
  - 4 第2項の理事長をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成18年法律第48号。以下「一般法人法」という。)上の代表理事とし、前項の専務理事及び常務理事をもって一般法人法第197条において準用する一般法人法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

(役員を選任)

第22条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

- 2 理事長、専務理事及び常務理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。

(理事の職務及び権限)

第23条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

- 2 理事長は、法令及びこの定款で定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、専務理事及び常務理事は、理事会において別に定めるところにより、この法人の業務を分担執行する。
- 3 理事長、専務理事及び常務理事は、毎事業年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第24条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

- 2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

(役員任期)

第25条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。

- 2 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。
- 3 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。
- 4 理事又は監事は、第21条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

(役員解任)

第26条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員報酬等)

第27条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会において別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

- 2 理事及び監事に対して、その職務を執行するために要する費用を弁償することがで

きる。この場合の支給基準については、評議員会の決議を経て、別に定める。

(顧問)

第28条 この法人に、顧問を置くことができる。

2 顧問は、次の職務を行う。

- (1) 理事長の相談に応じること
- (2) 理事会から諮問された事項について参考意見を述べること

3 顧問の選任及び解任は、理事会において決議する。

4 顧問は、無報酬とする。ただし、その職務を執行するために要する費用を弁償することができる。

## 第7章 理事会

(構成)

第29条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第30条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) この法人の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 理事長、専務理事及び常務理事の選定及び解職

(招集)

第31条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第32条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、一般法人法第197条において準用する一般法人法第96条の要件を満たしたときは、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第33条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した理事長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第8章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第34条 この定款は、評議員会の決議によって変更することができる。

2 前項の規定は、この定款の第3条、第4条及び第11条についても適用する。

(解散)

第35条 この法人は、基本財産の滅失によるこの法人の目的である事業の成功の不能その他法令で定められた事由によって解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第36条 この法人が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、評議員会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（平成18年法律第49号。以下「認定法」という。）第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第37条 この法人が清算をする場合において有する残余財産は、評議員会の決議を経て、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第9章 公告の方法

(公告の方法)

第38条 この法人の公告は、電子公告により行う。

- 2 事故その他やむを得ない事由によって前項の電子公告をすることができない場合は、官報に掲載する方法による。

#### 附 則

1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成18年法律第50号。以下「整備法」という。）第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。

2 整備法第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第6条の規定にかかわらず、解散の登記の日の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

3 この法人の最初の評議員は、次に掲げる者とする。

石 阪 春 生  
井 上 和 世  
大 谷 幸 正  
加 藤 隆 久  
下 村 俊 子  
妹 尾 美 智 子  
津 村 正 男  
長 崎 泰 裕  
新 野 幸 次 郎  
板 東 慧  
湯 浅 叡 子

4 この法人の設立の登記の日に就任する理事は、次に掲げる者とする。

辻 村 博 邦  
山 上 正 輝  
榊 原 均  
植 松 奎 二  
栗 原 慶 子  
藤 野 一 夫  
難 波 裕 子  
山 田 弘

5 この法人の最初の理事長は 辻村 博邦、専務理事は 山上 正輝、常務理事は 榊原均とする。

6 この法人の設立の登記の日に就任する監事は、次に掲げる者とする。

清 水 好 央  
水 嶋 輝 雄

#### 附 則

1 この定款は、平成28年4月1日から施行する。

#### 附 則

1 この定款は、平成30年4月1日から施行する。

#### 別表 基本財産（第5条関係）

財産種別	物量等
投資有価証券等	216,910,000 円

## IV 令和2年度事業報告

### 1 概 要

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により多くの事業が中止・延期となる中で、ベートーヴェン生誕250年を記念して、令和元年度よりシリーズとして開催している神戸市室内管弦楽団が全交響曲、全協奏曲を連続演奏する「ベートーヴェン・チクルス」に挑んだ。コロナ禍にあっても、さまざまな立場の多くの方々から愛され親しまれるホールを目指し、幅広い世代が交流・体験し、アートを体験できる「神戸文化ホールサマージャンボリー2020 ワシュ！ワシュ！アドベンチャー」を実施した。また、コロナ禍により、活動の場が減っているアーティストが、「with コロナ」時代に適応する文化芸術活動を継続していくための新たな企画に対して、一人当たり10万円を補助する『頑張るアーティスト！チャレンジ事業』を実施した。世界的な危機が続く、財政的にも厳しい状況の中、文化・芸術の灯を消さないために事業の在り方や開催方法について、様々な方法を模索するなど試行錯誤を続けている。

#### (1) ベートーヴェン・チクルス（※）

ベートーヴェン生誕250年の節目の年にあたり、神戸文化ホール等において、ベートーヴェンの全交響曲・全協奏曲を演奏するコンサートをシリーズ化し、令和元年度から令和3年度にかけて計7回・9公演の開催を予定。令和元年度は11月・1月に2公演を、令和2年度は10月、12月、1月に6公演を実施し、令和3年度は6月に1公演を実施した。神戸市室内管弦楽団、神戸市混声合唱団のほか、国内外より著名な指揮者、ソリストによる神戸ならではの音楽を発信することで、両団の周知・魅力発信に努めた。※新型コロナウイルスの影響により令和元年度の2公演、令和2年度の1公演をそれぞれ翌年度に延期

#### (2) サマージャンボリー2020 演劇公演「二分間の冒険」⇒「ワシュ！ワシュ！アドベンチャー」

ホールを「新しい広場」に見立て、幅広い世代が交流や体験を通して楽しみながらアートを親しむフェスティバルとして開催。開催時期が初回の緊急事態宣言後の夏休みだったため、感染対策を徹底しながら一人芝居や屋外パフォーマンス、また「ウィズコロナの新たな気づき」等を事前募集したメッセージカードを会場に展示するなどコロナ禍ならではの特徴とリフレッシュ感を盛り込んだプログラムを工夫し取り組んだ。開催後にダイジェスト映像を制作しホームページを通じて配信した。

#### (3) 新開地カブキモノ大興行 vol.3

3年目を迎えた「新開地カブキモノ大興行」は、開催一週間前に緊急事態宣言が発出されたため市民参加による新開地パレードを中止したが、ワークショップは感染症対策を徹底して行い、本公演は「緊急事態 ver. それでも、踊る！」としてホール公演とオンライン配信で開催した。

#### (4) 神戸市の補正予算事業への対応（アーティストチャレンジ事業）

コロナ禍で活動自粛を余儀なくされたアーティストに対し、「with コロナ」時代において文化芸術活動を継続していくために、神戸市において補正予算が生まれ、新たなチャレンジに対する補助金事業を行った。「活動機会を失った舞台関係者と休業縮小している店舗や施設がコラボした一人芝居やダンス公演」や「美術の対面式ワークショップに近い経験ができる趣向を凝らした絵本制作」「美術作品を自

宅へ郵送して作品鑑賞を楽しんでもらう宅配型の作品発表」など、新たな活動の場や表現方法が創り出された。

#### (5) HALL de PIANO

緊急事態宣言解除後、神戸文化ホール再始動の PR と、ホールの有効活用として「HALL de PIANO」を行った。長い自粛生活をしていた市民の方々に、感染対策を徹底したうえで、中ホールをひとり占めして、ベーゼンドルファー 280VC とスタインウェイ D-274 のピアノの弾き比べを楽しんでいただいた。テレビや新聞、ラジオなどで大きく取り上げられ、同様の取り組みが日本各地のホールに広がった。さらに、ご来場いただけなかった方にも自宅で文化ホールのピアノの音色を楽しんでいただけるよう、神戸のストリートピアノで活躍するユーチューバーの演奏動画を配信し、参加者のメッセージを花時計ギャラリーで掲示した。

## 2 事業の実施状況

### 公益目的事業

#### 1 文化振興事業

##### (1) 事業方針

- ①市民の文化向上に資する質の高い鑑賞型事業の提供
- ②芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ③市民参加型芸術文化事業の充実
- ④地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援
- ⑤情報収集・提供の充実（多様な文化芸術の紹介）
- ⑥芸術文化を担う人材の育成

##### (2) 事業内容

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、令和2年度に予定していたホールでの公演や、まちなか、小学校、病院等さまざまな場所で開催予定だった演奏会等の多くが中止を余儀なくされた。

一方で、コロナ禍においても文化振興に資する事業を途絶えさせないため、感染予防のためのガイドライン等を遵守し、実施方法を模索・検討しながら、可能な限り取組を遂行した。

##### ①市民の文化の向上に資する質の高い鑑賞型事業の提供

市民に感動を与え、感性や創造性を育む質の高い芸術を鑑賞出来る機会として、「KOBE ミュージックポート～秋の音楽祭～」において、市民が質の高いクラシックやジャズ等のコンサートをさまざまな場所で鑑賞できる機会を提供した。

##### ②芸術文化による神戸ブランドの創造発信

「ジャズの街神戸」推進事業として、新型コロナの影響で多くのジャズイベントが中止となる中、出演の機会を失ったアーティストや学生に出演の機会を創出し、「with コロナ」時代におけるイベントの可能性を提示すると同時に、神戸のジャズシーンに活気を取り戻すため「KOBE JAZZ SUMMER FESTIVAL」や「新開地ジャズヴォーカルクイーンライブ」等を開催したほか、まちなかでのジャズの生演奏や、「神戸ユースジャズオーケストラ」の運営、ラジオ番組の制作・放送を行った。また、令和3年に実施する「第10回神戸国際フルートコンクール」の実施要項を世界に向けて発表し、出場者の募集を行った。

##### ③市民参加型芸術文化事業の充実

コロナ禍で活動自粛を余儀なくされたアーティストに対し、「with コロナ」時代において文化芸術活動を継続していくために、「アーティストチャレンジ事業」を実施した。「取り組んだ企画が今後の活動の試金石になった」「新たに得た知識やノウハウを生かして今後も活動を続けたい」という声が多く寄せられ、オンライン配信に初めて取り組んだアーティストも多かった。

採択件数	145 件
一次採択者数	251 人
二次採択者数	297 人

また、コロナ禍においても市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「全日本シャンソンポピュレールコンクール」において、地区大会を全てビデオ審査もしくは無観客で審査したうえで、神戸文化ホールでの「ファイナル」については無観客でのオンラインL I V E配信にて実施した。また、「KOBE ミュージックポート」の中で、市民からの公募出演者による野外ライブを開催した。また、「KOBE ミュージックポート」の中で野外ライブの出演者を一般公募する等市民参加型事業を展開した。

#### ④ 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

神戸文化の基盤となっている地元芸術文化団体への活動支援および協力関係の強化を図るとともに、「舞コンサート」の実施や、「神戸ユースジャズオーケストラ」の運営等を通じて、今後の神戸文化の担い手となる若手人材の育成を支援した。

#### ⑤ 情報収集・提供の充実

神戸及びその近郊の様々な芸術文化活動を幅広く紹介する「KOBE C 情報」をインスタグラムで発信するなど、SNS 等の新しい媒体を活用し、情報ネットワークが多様化した現代に対応するため、情報発信機能の強化を図った。

#### ⑥ 芸術文化を担う人材の育成

各種事業の企画・実施を通じて、アートマネジメント能力の向上を図るなど、「担い手」としての養成・機会確保に努めた。

### (3) 事業実績

令和2年4月1日～令和3年3月31日

	事業名	日付 (公演日)	会場 (施設名)	入場者数 (参加者数)
音楽	「ジャズの街神戸」発信事業(一部中止)	4月～3月	市内各所	943
	JAPAN STUDENTJAZZ FESTIVAL(中止)	8/14～16	神戸文化ホール 大ホール	—
	山野楽器ビッグバンドジャズコンテスト西日本予選(中止)	5/30	神戸文化ホール 中ホール	—
	神戸ジャズストリート(中止)	10/10・11	北野界限	—
	神戸市吹奏楽祭(中止)	4/29, 11/3	神戸文化・大ホール	—
	ウィーンの情熱(中止)	5/6～10	東灘文化センター うはらホールほか	—
	ボンジュールフランス(中止)	6/28	東灘区民センター うはらホール	—
	60歳からのデビュー(中止)	7/27, 7/28	舞子ビラ あじさいホール	—
	アジア・フルートコンgres(中止)	8/20～23	神戸文化ホール大・中ホール 等	—
	母親コーラスの育成(中止)	12/10・11	神戸文化ホール 中ホール	—
	全日本シャンソンポピュラーコンクール2020 (無観客 オンライン配信)	5/9, 7/14, 9/26	神戸文化ホール・中ホール	—
	舞コンサート	9/12, 10/24, 2/20	舞子ビラ あじさいホール	379
	神戸ミュージックポート～秋の音楽祭～	10/17～11/1	まちなか・神戸文化ホール ほか	1,555
第27回神戸からのしらべ	11/22	神戸文化ホール 中ホール	258	
神戸三曲協会演奏会(一部中止)	6/14, 3/21	東灘区文化センターうはらホ ール	150	
演劇・ 舞踊	第33回こうべ全国洋舞コンクール(中止)	5/2～5	神戸文化ホール 大・中ホール	—
	神劇まわり舞台(一部中止)	9月、10月、1月、3月	元町プチシアターほか	268
	さわってみよう能の世界	3/13	湊川神社神能殿	83
他	医療+アート(イラスト作品展示企画) (一般公開無し)	11/18～12/18	県立こども病院 ICCRC	—
合計				3,636

## 2 演奏事業(神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団)

### (1) 事業方針

- ① 神戸文化ホールおよび文化センター等における質の高い演奏の提供
- ② 演奏水準のさらなる向上
- ③ 広報強化・アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ④ 自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

### (2) 事業内容

新型コロナウイルスの影響によるホールの閉館、利用制限、あるいは渡航制限、自粛要請等により多くの演奏会が中止、あるいは延期されることとなった。一方、海外在住の演奏家が、コロナ禍により招聘することが困難になった等の理由から、

国内アーティストのみの編成による演奏を余儀なくされたところ、国内アーティストの実力評価にもつながるなどの成果もあった。

### ①神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

室内管弦楽団では、ベートーヴェンの全交響曲・全協奏曲を演奏する「ベートーヴェン・チクルス」を令和元年度から引き続き実施、4公演を行った。また、「CLASSIC PLUS」では、指揮鈴木優人氏、ヴァイオリン木嶋真優氏と世界で活躍する神戸ゆかりのアーティストを招聘、混声合唱団による鈴木優人氏の作品の合唱など特色ある公演を実施した。

混声合唱団では、コロナ禍で合唱の再開が難しい中、ガイドラインに基づき神戸タータンマスクを着用して9月の秋の定期演奏会を開催。兵庫、神戸と関わりの深い池辺晋一郎氏を指揮に迎え、音楽のすばらしさを発信した。

また、両団合同の取り組みとして阪神・淡路大震災25年を契機として特別合同演奏会を開催。指揮に著名な佐渡裕氏を迎え慰霊、鎮魂だけでなく、コロナに負けない!未来に向けたプログラムで、ライブ配信も行った。

(ベートーヴェン・チクルス第4回は新型コロナウイルス感染防止のため令和3年度に延期、混声合唱団3月春定期演奏会は海外からの指揮者が渡航制限のため来日が叶わず中止)

### ②両楽団の周知・魅力発信の取り組み

2つの楽団を持つ強みを活かし、合同公演を文化センターで開催するとともに、ストリートピアノを活用した演奏会や商業施設等でのまちなかコンサートなど、両団の周知および魅力発信を行った。

また、子どもと一緒に鑑賞できるコンサートを文化センターで実施したほか、次代を担う子どもたちに対する鑑賞機会の提供のため、小学生を神戸文化ホールに招待する「インリーチ事業」と、令和元年度から6年間で市内全小学校へ出張演奏を行う「アウトリーチ事業」に地元音楽家とも連携し、継続して取り組んだ。さらに、特別支援学校へのアウトリーチも行った。

項目	自主公演 (講座等含む)	依頼公演	合計
公演数	49(16)	84(39)	133(55)
入場者数	6,097人	6,643人	12,740人

※括弧内は新型コロナウイルス感染症の影響により中止、延期となった事業・公演数

### (3) 事業実績

#### 【自主公演】

令和2年4月1日～令和3年3月31日

事業名		日付 (公演日)	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
神戸市室内管弦楽団	ベートーヴェンの森第2回	1/6	神戸文化ホール	232
		1/7	紀尾井ホール	157
	ベートーヴェンの森第3回	12/2	神戸文化ホール	314
	ベートーヴェンの森第4回 (延期→R3.6.27)	7/4	神戸文化ホール	-
	ベートーヴェンの森第5回	10/10	神戸文化ホール	354
		10/11	紀尾井ホール	290
	ベートーヴェンの森第6回	1/10	神戸文化ホール	494
	ベートーヴェンの森公開講座第5弾 (延期)	6/21	須磨区文化センター他	-
	ベートーヴェンの森公開講座第4,6,7弾	9/16, 11/20, 12/9	北区文化センター他	118
	わがまちコンサート・ピフレ	9/25, 11/20, 2/26	ピフレホール	343
	あなたに贈るコンサート	11/7	すずらんホール	91
		1/30	灘区民ホール	141
	こどもコンサート	8/1	ありまホール	123
		8/2	なでしこホール	183
	特別コンサート	7/4	神戸文化ホール	233
	弦楽合奏アウトリーチ(中止)	12/18	デュオ神戸	-
	弦楽合奏アウトリーチ	11/4, 12/5	デュオ神戸	300
	特別支援学校アウトリーチ (延期→R3年度)	2/1	いぶき明生支援学校	-
	特別支援学校アウトリーチ	1/27	友生支援学校住吉分校	15
	クラシックプラスⅡプレトーク	3/7	県立美術館	50
クラシックプラスⅡアウトリーチ	3/8	六甲アイランド高校	30	
クラシックプラスⅡ特別演奏会	3/13	神戸文化ホール	598	
神戸市混声合唱団	秋の定期演奏会	9/5	神戸文化ホール	435
	春の定期演奏会(中止)	2/27	神戸文化ホール	-
	こどもコンサート(中止)	7/26	すずらんホール	-
		7/31	うはらホール	-
	わがまちコンサート・ピフレ(中止)	8/7	ピフレホール	-
	わがまちコンサート・ピフレ	1/22, 2/19	ピフレホール	370
	あなたに贈るコンサート(中止)	4/26	うはらホール	-
あなたに贈るコンサート	10/18	なでしこホール	179	
	2/14	ありまホール	114	
合同	あなたに贈るコンサート(中止)	6/14	なでしこホール	-
	あなたに贈るコンサート	12/6	うはらホール	213
	室内・混声合同特別演奏会 (指揮:佐渡裕)	12/19	神戸文化ホール	720
合計				6,097

#### 【依頼公演】

	公演数	入場者数
神戸市室内管弦楽団	18(12)	780
神戸市混声合唱団	44(24)	2,629
合同	22(3)	3,234
合計		6,643

※括弧内は新型コロナウイルス感染症の影響により中止、延期となった事業・公演数

### 3 神戸文化ホール公演事業

#### (1) 事業方針

- ①文化ホールを拠点とした芸術創造・発信事業の展開
- ②優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供及び鑑賞を深めるための関連企画の実施
- ③財団のネットワークを活用した市民・芸術家・文化団体・他地域の文化施設などとの交流及び連携事業の実施

#### (2) 事業内容

新型コロナの影響で先行きが見通せず、一年を通して事業を計画通りに実施することが大変困難であった。予定していた35事業のうち15事業が中止、2事業が延期となった。しかし、ホールから外へ飛び出す参加型事業や配信を用いた鑑賞など新しいことにチャレンジすることも出来た。

##### ①芸術創造・発信事業

ベートーヴェンのアニバーサリーイヤーということで神戸市室内管弦楽団と神戸市混声合唱団による特別演奏会「ベートーヴェンの森」シリーズに取り組んだ。

また、地元の文化団体である和太鼓松村組や貞松・浜田バレエ団、神戸能楽協会と共に新型コロナの感染対策ガイドラインに則って来場者の安全安心を第一に心掛け公演に取り組んだ。

##### ②教育普及・育成事業

計画していた事業の8割近くを中止せざるを得なかったが、サマージャンボリーではウィズコロナの観点からプログラムを組み立てなおし、これまでにない新たな試みを取り入れて開催した。参加アーティストからも好評を得て、アフターコロナに向けての画期的な事業となった。

##### ③鑑賞・学習事業

ツアー中止が相次ぎ最終的に「桂文珍独演会」と「桂米朝一門会」が開催出来た。新たな試みとして「サマージャンボリー」のダイジェスト映像の配信とメッセージの展示をエントランスで実施し、展示事業の可能性を試みた。

#### (3) 文化ホール公演事業実績 〈事業別〉

	事業数	公演数	入場者数
芸術創造・発信事業	13 (6)	14 (8)	6,628
教育普及・育成事業	2 (7)	2 (13)	180
鑑賞・学習事業	3 (4)	12 (5)	657
合計	18 (17)	28 (26)	7,465

※括弧内は新型コロナウイルス感染症の影響により中止、延期となった事業・公演数

〈部門別〉

	事業数	公演数	入場者数	備 考
音 楽	9 (9)	9 (10)	4,272	クラシック14 合唱2 ポピュラー1 邦楽1
舞 踊	2	3	1,937	バレエ2
演 劇	1 (3)	1 (8)	296	演劇1 能1 歌舞伎1 ミュージカル1
演 芸	3 (2)	3 (5)	710	落語5
その他	3 (3)	12 (3)	250	講座2(能2) 展示1(フェスティバル1) ワークショップ1(演劇1) フェスティバル2
合 計	18 (17)	28 (26)	7,465	

※括弧内は新型コロナウイルス感染症の影響により中止、延期となった事業・公演数

〈実績一覧〉

令和2年4月1日～令和3年3月31日

	事業名	日付 (公演日)	会場 (施設名)	入場者数 (参加者数)
芸 術 創 造 ・ 発 信 事 業	生誕250周年ベートーヴェン・チクルス 「ベートーヴェンの森」第3回(延期)	5月9日	中ホール	—
	青春落語道場『大倉亭』6周年記念公演【最終回】(中止)	7月3日	大ホールロビー	—
	生誕250周年ベートーヴェン・チクルス 「ベートーヴェンの森」第4回(延期)	7月4日	大ホール	—
	神戸文化ホール 特別コンサート ～コンサートホールに音楽の灯をともしよう～	7月4日	中ホール	233
	神戸市混声合唱団 秋の定期演奏会 「池辺晋一郎 楽興の時」	9月5日	大ホール	435
	生誕250周年ベートーヴェン・チクルス 「ベートーヴェンの森」第5回	10月10日	中ホール	354
	和太鼓松村組 神戸公演 「25年目に向けて、ここから始まる…」	11月7日	大ホール	820
	貞松・浜田バレエ団クリスマス特別公演 「くるみ割り人形」全幕	11月28・29日	大ホール	1,533
	生誕250周年ベートーヴェン・チクルス 「ベートーヴェンの森」第3回振替公演	12月2日	中ホール	314
	市民の第九2020(中止)	12月12日	大ホール	—
	阪神・淡路大震災25年 特別合同演奏会	12月19日	大ホール	792
	生誕250周年ベートーヴェン・チクルス 「ベートーヴェンの森」第2回振替公演	1月6日	中ホール	232
	青春落語道場 大倉亭 新春寄席2021	1月8日	中ホール	123
	生誕250周年ベートーヴェン・チクルス 「ベートーヴェンの森」第6回	1月10日	中ホール	494
	PRAY FROM KOBE～明日につなげるコンサート～(中止)	1月24日	中ホール	—
	神戸市混声合唱団 春の定期演奏会(中止)	2月27日	大ホール	—
	クラシック・プラスⅡ特別演奏会	3月13日	中ホール	598
	貞松・浜田バレエ団特別公演 「創作リサイタル32」	3月20日	中ホール	404
	第十三回神戸能	3月21日	中ホール	296
合 計				6,628

	事業名	日付 (公演日)	会場 (施設名)	入場者数 (参加者数)
教育普及・育成事業	KOBE☆ファミリーコンサート ～ベートーヴェンが神戸にやってくる！～(中止)	4月4日	大ホール	—
	神戸文化ホール スプリングジャンボリー2020 わくわくアドベンチャー♪(中止)	4月5日	大ホール	—
	神戸文化ホール サマージャンボリー2020 「二分間の冒険」オーディション/ワークショップ(中止)	6月7日	KAVC リハーサル室	—
	みんなでハレルヤ！2020(中止)	6月27日	中ホール	—
	2020 オカリナフェスティバル in 神戸(中止)	7月18・19日	中ホール	—
	能・狂言体験講座(中止)	8月上旬	練習実	—
	神戸文化ホール サマージャンボリー2020 ワシュ！ワシュ！アドベンチャー	8月15・16日	大ホール	141
	劇団四季 こころの劇場(中止)	10月10～13日	大ホール	—
	第十三回神戸能プレイベント～体験講座～	2月23日	練習室	39
合計				180
	事業名	日付 (公演日)	会場 (施設名)	入場者数 (参加者数)
鑑賞・学習事業	令和二年度 松竹大歌舞伎(中止)	4月22日	大ホール	—
	桂文珍独演会 JAPAN TOUR～一期一笑～	7月23日	中ホール	159
	神戸文化ホール サマージャンボリー2020 演劇公演「二分間の冒険」(中止)	8月30日	大ホール舞台上	—
	第46回東西落語名人選(中止)	9月19日	中ホール	—
	神戸文化ホールサマージャンボリー2020関連企画 meets【密】ソーシャルメッセージ&サマジャン2020記録映像 展	10月7～16日	エントランス	70
	親子のためのオーケストラ ズーラシアンフィルハーモニー管弦楽団(中止)	12月5日	大ホール	—
	桂米朝一門会	3月14日	大ホール	428
合計				657

#### 4 神戸文化ホール貸館・管理事業

##### (1) 事業方針

- ①弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ②施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ③文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ④基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

##### (2) 事業内容

コロナ禍の影響や施設の利用制限により、貸館事業の多くで中止が発生。利用率は大きく減少（前年比大ホール▲37.9%、中ホール▲11.8%、練習室▲22.4%）。また、コロナ感染対策として対面接触を減らす為、従来の施設抽選方法を変更。メールを用いた事前受付制とした。更に、空調機の抗ウイルスフィルター設置や、客席の抗菌・抗ウイルスコーティングなどを実施し、より安心してご利用頂けるように取り組んだ。

### ①弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、利用者ニーズに応じた弾力的な運用を継続実施した。

また、体制を強化した舞台スタッフによる専門性の高い舞台表現に対するアドバイスと舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営及び利用者のサポートを引き続き実施した。

### ②施設利用者、来館者のご意見を反映したホール運営

利用後のアンケート調査や「お客様の声BOX」でお寄せいただいたご意見・ご要望を基に、ホール運営全般の改善に努めた。具体的には、オペレーターを増員して、チケット電話予約への迅速な対応を行った。

また、コロナ禍への対応として、インターネットを通じた発信へのニーズが高まっており、光回線設置に向けての工事を行った。

### ③文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続して実施した。

また、若手芸術家の発表及び交流の場としての大ホールのロビー活用を継続した。

### ④基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

ホール全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努め、市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行うとともに、市と連携して、防火設備改修など老朽化した施設・設備の改修に取り組んだ。また新型コロナウイルスの感染症拡大に伴い、清掃業務の拡充や手洗いうがいを敢行するポスターを掲示し市民への注意喚起を行った。

## (3) 貸館・管理事業実績

		大ホール	中ホール	練習場	合計
利用件数(件)		97	148	2,059	2,304
入場者数(人)		33,983	21,309	22,702	77,994
利用率 (%)	踏入率	38.0	58.5	73.6	
	実利用率	35.0	50.7	49.1	

(※収益事業による利用を含む)

## ①神戸文化ホール利用状況表（自主事業を含む）

※収益事業を含む

令和2年4月1日～令和3年3月31日

		大ホール		中ホール		合 計	
部門	内 訳	利用件数(件)	入場者数(人)	利用件数(件)	入場者数(人)	利用件数(件)	入場者数(人)
音楽	クラシック	42	11,564	70	4,247	112	15,811
	ポピュラー	7	1,805	10	3,130	17	4,935
	邦楽	2	820	0	0	2	820
	小 計	51	14,189	80	7,377	131	21,566
舞踊	舞踊等	18	6,190	28	4,809	46	10,999
演劇	演劇	3	966	17	5,677	20	6,643
	音楽劇	0	0	0	0	0	0
	小 計	3	966	17	5,677	20	6,643
演芸等	演芸・映画	6	3,944	6	1,072	12	5,016
大会行事 等	大会・式典	10	5,102	1	280	11	5,382
	講演会・講習会	2	865	5	622	7	1,487
	小 計	12	5,967	6	902	18	6,869
その他		7	2,727	11	1,472	18	4,199
合 計		97	33,983	148	21,309	245	55,292
利用率(%)		38.0		58.5		48.3	
前年度利用率(%)		75.9		70.3		73.1	

注) 利用率は、「利用日数／利用可能日数」(大ホール 92／242 中ホール 145／248)

## ②神戸文化ホール練習場利用状況表

令和2年4月1日～令和3年3月31日

	合 計
利用件数(件)	2,059
利用者数(人)	22,702
利用率(%)	73.6
前年度利用率(%)	96.0

## 5 神戸アートビレッジセンター（KAVC）事業

### （1）事業方針

- ①先進的な芸術文化の事業の実施
- ②アートの世界への入り口となるワークショップや講座の実施
- ③市内外の文化施設や教育機関等との交流及び連携
- ④事業を通じたまちの賑わいづくり及び活性化への寄与

### （2）事業内容

緊急事態宣言の影響により4月～6月の催し物が延期・中止となり、その後も事業数縮小や収容率50%による影響のため集客も非常に厳しい状況となった。

一方で感染対策を徹底した上で“声を発しない”マイム公演やオンライン配信など新しい試みを行うなど、コロナ禍で表見活動を止めない積極的な事業展開を行った。

#### ①演劇・舞踊事業

主に関西で活動する若手劇団を1年間通して紹介するKAVC FLAG COMPANYの公演のほか、夏休みの期間中に高校生を対象にした演劇ワークショップ Go!Go!High School Projectのオンライン公演を行った。コロナ禍における新規事業として、いむろなおき「マイム小品集」や、KAVC Play Radio「こやばなし」を実施した。

#### ②美術事業

3回目を迎えた「ART LEAP」では、出品作家に蓮沼昌宏氏を迎え、新作個展「特別にできないファンタジー」を開催した。そのほか、若手支援企画として大八木夏生と勝木有香による二人展「ピンボケの映像」を開催した。また、4月の緊急事態宣言下では「自宅で子どもと楽しむシルクスクリーン」をYouTubeにて配信を行った。

#### ③映像事業

KAVC CINEMAとして、商業的なシネマコンプレックスでは取り扱いの少ないドキュメンタリー作品や、美術や音楽などアートを題材にした作品を主に選択して上映した。また、特集上映として「杉村春子特集」のほか「日本の喜劇映画セレクション」など貴重な35mmフィルムでの上映を行った。その他にも世界的に評価の高いナショナル・シアター・ライブの鑑賞機会を創出した。

#### ④音楽・地域事業

神戸の単館映画館4館（パルシネマ・元町映画館・シネマ神戸・KAVC）が協働して開催するシネマポートフェスは、各館特徴のある映画の上映を行うとともに、周辺地域のお店（40店舗）が参加するスタンプラリーを開催してまちの賑わいを創出した。KAVCでのジャズヴォーカルクィーンコンテストは新型コロナの影響により中止となった。

(3) 神戸アートビレッジセンター事業実績  
 (事業別)

	事業数	公演数	入場者数
演劇・舞踊事業	14 (4)	100 (16)	4,943
美術事業	11 (1)	51 (1)	3,197
映像事業	17 (3)	530 (120)	3,100
地域・音楽・その他事業	39 (11)	155 (27)	11,564
合計	81 (19)	836 (164)	22,804

\*括弧内は新型コロナウイルス感染症の影響により中止、延期となった事業 (内数)

〈実績一覧〉

令和2年4月1日～令和3年3月31日

	事業名	日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
演劇・舞踊事業	ファミリーツリー(延期)	4/4(土)・5(日)	KAVCホール	-
	いいむろなおき マイム小品集	6/27(土)・28(日)	ホール/WEB配信	596
	Go! Go! High School Project 2020「進化する、変わらないもの」(WS)	7/18(土)-8/16(日)	オンライン	11
	Go! Go! High School Project 2020「進化する、変わらないもの」(公演)	8/16(日)	WEB配信	266
	ダンスの天地vol.3	9/27(土)・28(日)	KAVCホール	89
	壱劇屋「異空間クラスター」	10/28(金)・29(土)	KAVCホール/WEB配信	352
	KFC#1 Ahwooo「パンと日本酒」	11/13(金)～15(日)	KAVCホール	185
	KFC関連アフタートーク	11/14(土)	KAVCホール	53
	KFC関連WS#1「KING&HEAVYの人間観察講座」	11/14(日)	リハーサル室	7
	ファミリーツリー(4月から延期後の中止)	12/5(土)・6(日)	KAVCホール	-
	アクションワークショップⅢ	12/18(金)	KAVCホール	10
	KFC#2 努力クラブ「救うか殺すかしてくれ」	1/22(金)～24(日)	KAVCホール	367
	KFC関連アフタートーク#2 多田淳之介	1/22(金)	KAVCホール	47
	KFC関連WS#2 福谷圭祐(匿名劇壇)	1/23(土)	KAVCシアター	4
	KFC#3 安住の地「iplay!」(延期)	2/4(木)～7(日)	KAVCホール	-
	KFC関連アフタートーク#3(延期)	2/7(日)	KAVCホール	-
	KFC関連WS#3 ピンク地底人3号(もちの世界)	2/7(日)	KAVCシアター	14
	KFC#4 オパンボン創造社「オパンボン★ナイト～ほほえむうれひ～」	2/26(金)～28(日)	KAVCホール	302
	KFC関連アフタートーク#4 戌井昭人	2/27(土)	KAVCホール	63
	KFC関連WS#4 大熊隆太郎(壱劇屋)	1/23(土)	リハーサル室	10
	KFC#5 劇団不労社「BLOW & JOB」(延期)	3/12(金)～14(日)	KAVCホール	-
	KFC関連アフタートーク#5 タニノクロウ(延期)	3/13(土)	KAVCホール	-
	KFC関連WS#2 山本正典(コトリ会議)	3/13(土)	リハーサル室	6
	KFC#6 うんなま「ANCHOR」	3/26(金)～28(日)	KAVCホール	179
	KFC関連アフタートーク#6	3/27(土)	KAVCホール	30
	KFC関連WS#6 村角太洋(ロブカールトン)	3/27(土)	リハーサル室	9
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#1 若旦那家康	10/6～	WEB配信	355
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#2 三坂恵美(前編)	10/13～	WEB配信	116

演劇・舞踊事業	KAVC PLAY RADIO こやばなし#3 三坂恵美(後編)	10/20 ~	WEB配信	70	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#4 長谷川寧(前編)	10/27 ~	WEB配信	102	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#5 長谷川寧(後編)	11/3 ~	WEB配信	85	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#6 中野、合田、中村(前編)	11/10 ~	WEB配信	120	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#7 中野、合田、中村(後編)	11/17 ~	WEB配信	97	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#8 森田かずよ(前編)	11/24 ~	WEB配信	77	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#9 森田かずよ(後編)	12/1 ~	WEB配信	43	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#10 横山、稲田(前編)	12/8 ~	WEB配信	182	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#11 横山、稲田(後編)	12/15 ~	WEB配信	93	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#12 筒井潤(前編)	12/22 ~	WEB配信	69	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#13 筒井潤(後編)	12/29 ~	WEB配信	73	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#14 平田オリザ(前編)	1/5 ~	WEB配信	241	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#15 平田オリザ(後編)	1/12 ~	WEB配信	133	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#16 しりあがり寿(前編)	1/19 ~	WEB配信	58	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#17 しりあがり寿(後編)	1/26 ~	WEB配信	36	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#18 タカハシ(前編)	2/2 ~	WEB配信	43	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#19 タカハシ(後編)	2/9 ~	WEB配信	30	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#20 野村、西田、繁澤(前編)	2/16 ~	WEB配信	60	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#21 野村、西田、繁澤(後編)	2/23 ~	WEB配信	51	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#22 あごうさとし(前編)	3/2 ~	WEB配信	31	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#23 あごうさとし(後編)	3/9 ~	WEB配信	23	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#24 石井、佐々木、長野(前編)	3/16 ~	WEB配信	61	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#25 石井、佐々木、長野(後編)	3/23 ~	WEB配信	74	
	KAVC PLAY RADIO こやばなし#26 山口、ウォーリー木下、若旦那	3/30 ~	WEB配信	20	
	合計 14事業100公演(内中止・延期:4事業16公演)				4,943
	美術事業	事業名	日付	会場(施設名)	入場者数(参加者数)
シルクスクリーンWS「自宅で子どもと楽しむシルクスクリーン」		5/15(金) ~	WEB配信	564	
北加賀屋アートフェア出展(「###」)(延期)		5/30(土)・31(日)	クリエイティブセンター大阪	-	
ART LEAP 2020 展覧会プラン公開プレゼンテーション		7/19(日)	WEB配信	296	
はじまりのみかた vol.7 スター作家の作品を生産するマシンを考える		7/24(金祝)	リハーサル室	3	
アーティストサポートプログラム(8月・9月:西光祐輔)		8/13(木)、27(木)、9/2(水)	アトリエ	7	
ピンボケの影像 大八木夏生、勝木有香		11/5(木)~19(木)	KAVCギャラリー	1,004	
関連イベント「オープニングトーク」		11/7(土)	KAVCギャラリー	175	
関連WS「シャシャッと『動き』をなぞってみよう！」		11/8(日)	1room	4	
関連WS「ビューーと描いてみよう！」		11/14(土)	1room	7	
シルクスクリーンで年賀状を刷ろう！		12/19(土)	アトリエ	6	
アーティストサポートプログラム(伊達伸明)		10/12(月)	アトリエ	1	
ART LEAP 2020「特別的にできなファンタジー」		2/20(土)~3/14(日)	ギャラリー・シアター・スタジオ	909	
ART LEAP 2020関連 ゲストトーク		2/20(土)	1room/WEB配信	131	
ART LEAP 2020関連 ワークショップ		3/7(日)	1room	8	
ART LEAP 2020関連 クロージングトーク		3/14(日)	1room/WEB配信	74	
アーティストサポートプログラム(IDEAI COPY)	1/30(土)	アトリエ	4		
アーティストサポートプログラム(IDEAL COPY、phono/graph)	3/22(月)、3/28(日)	アトリエ	4		
合計 11事業51日間・公演(内中止・延期:1事業1公演)				3,197	

	事業名	日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
映像事業	テルアビブ・オン・ファイヤ(中止)	4/11(土)～24(金)	KAVCシアター	-
	コロンバス(延期)	4/11(土)～24(金)	KAVCシアター	-
	髑髏城の七人 風(中止)	4/11(土)～24(金)	KAVCシアター	-
	介護絆つながっていきか(中止)	4/11(土)～24(金)	KAVCシアター	-
	NTL フリーバック(延期)	4/11(土)～24(金)	KAVCシアター	-
	NTL リーマントリロジー(延期)	4/11(土)～24(金)	KAVCシアター	-
	水と砂糖のように(延期)	5/9(土)～22(金)	KAVCシアター	-
	悲しみより、もっと悲しい物語(延期)	5/9(土)～22(金)	KAVCシアター	-
	ようこそ、革命シネマへ(延期)	5/9(土)～22(金)	KAVCシアター	-
	劇場版 声優男子ですが・・・?(延期)	5/9(土)～22(金)	KAVCシアター	-
	グリーン・ライ エコの嘘(延期)	5/9(土)～22(金)	KAVCシアター	-
	いただきます ここは、発酵の楽園(延期)	5/9(土)～22(金)	KAVCギャラリー	-
	水と砂糖のように	6/13(土)～26(金)	KAVCシアター	27
	悲しみより、もっと悲しい物語	6/13(土)～26(金)	KAVCシアター	49
	ようこそ、革命シネマへ	6/13(土)～26(金)	KAVCシアター	43
	劇場版 声優男子ですが・・・?	6/13(土)～26(金)	KAVCシアター	38
	グリーン・ライ エコの嘘	6/13(土)～26(金)	KAVCシアター	25
	NTL フリーバック	6/13(土)～26(金)	KAVCシアター	36
	ケアニン こころに咲く花	7/11(土)～24(金)	KAVCシアター	74
	色男 ホ・セク	7/11(土)～24(金)	KAVCシアター	181
	罪と女王	7/11(土)～24(金)	KAVCシアター	78
	コロンバス	7/11(土)～24(金)	KAVCシアター	81
	いつくしみふかき	8/8(土)～21(木)	KAVCシアター	101
	サンダーロード	8/8(土)～21(木)	KAVCシアター	53
	ラ・ヨローナ	8/8(土)～21(木)	KAVCシアター	55
	NTL「リーマン・トリロジー」	8/8(土)～21(木)	KAVCシアター	76
	NTL「スモール・アイランド」	8/8(土)～21(木)	KAVCシアター	33
	いただきます ここは、発酵の楽園	9/12(土)～18(金)	KAVCシアター	72
	恋する男映画祭	9/12(土)～25(金)	KAVCシアター	52
	カサノヴァ ～最期の恋～	9/12(土)～25(金)	KAVCシアター	45
	ランブル	9/12(土)～25(金)	KAVCシアター	209
	シリアにて	9/19(土)～25(金)	KAVCシアター	61
	杉村春子特集上映「大曾根家の朝」	10/10(土)～16(金)	KAVCシアター	35
	杉村春子特集上映「にごりえ」	10/10(土)～16(金)	KAVCシアター	40
	杉村春子特集上映「千羽鶴」	10/10(土)～16(金)	KAVCシアター	31
	杉村春子特集上映「晩菊」	10/10(土)～16(金)	KAVCシアター	47
	杉村春子特集上映「流れる」	10/10(土)～16(金)	KAVCシアター	68
	杉村春子特集上映「満員電車」	10/10(土)～16(金)	KAVCシアター	39
	杉村春子特集上映「午後の遺言状」	10/10(土)～16(金)	KAVCシアター	33
	ニッポンの喜劇映画セレクション「エノケン・笠置のお染久松」	10/17(土)～21(水)	KAVCシアター	69
	ニッポンの喜劇映画セレクション「世にも面白い男の一生 桂春団治」	10/17(土)～21(水)	KAVCシアター	60
ニッポンの喜劇映画セレクション「喜劇 につぼんのお婆あちゃん」	10/17(土)～21(水)	KAVCシアター	71	
ニッポンの喜劇映画セレクション「喜劇 女は度胸」	10/17(土)～21(水)	KAVCシアター	56	
靴ひも	11/7(土)～20(金)	KAVCシアター	96	

映像事業	ヴィタリナ	11/7(土)~20(金)	KAVCシアター	83
	プリズン・エスケープ	11/7(土)~20(金)	KAVCシアター	60
	NTL「夏の夜の夢」	11/7(土)~13(金)	KAVCシアター	96
	NTL「プレゼント・ラフター」	11/14(土)~20(金)	KAVCシアター	60
	ナショナル・シアター・ライブ講座	10/26、11/2、9、16、30	会議室、ZOOM	20
	新しい街 ヴィル・ヌーヴ	12/5(土)~18(金)	KAVCシアター	31
	バルタザールどこへ行く	12/5(土)~11(金)	KAVCシアター	59
	トム・オブ・フィンランド	12/5(土)~11(金)	KAVCシアター	26
	僕の好きな女の子	12/5(土)~18(金)	KAVCシアター	65
	だってしょうがないじゃない	12/12(土)~18(金)	KAVCシアター	24
	少女ムシエツ	12/12(土)~18(金)	KAVCシアター	41
	中島みゆき 夜会	12/12(土)~18(金)	KAVCシアター	120
	ビリーバーズ (延期)	1/30(土)~2/5(金)	KAVCシアター	-
	Away	3/18(木)~31(水)	KAVCシアター	84
	和田淳特集「私の秘かな動く楽しみ」	3/18(木)~31(水)	KAVCシアター	75
	アルプススタンドのはしの方	3/18(木)~24(水)	KAVCシアター	93
	タイムリミット 見知らぬ影	3/25(木)~31(水)	KAVCシアター	16
	エキストロ	3/25(木)~31(水)	KAVCシアター	20
	NTL「ハンサード」	3/25(木)~31(水)	KAVCシアター	30
	NTL「シラノ・ド・ベルジュラック」	3/18(木)~24(水)	KAVCシアター	63
	合計 17事業530回(内中止・延期:3事業120回)			
	事業名	日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
音楽事業	SMS関連企画 いらっしゃいませようこそ 音楽でかんぱい(中止)	5/8(金)	KAVCホール	-
	神戸新開地ジャズクイーンヴォーカルコンテスト(中止)	5/10(日)	KAVCホール	-
	三田村管打団?と音遊びの会	11/23(月祝)	KAVCホール	531
	KAVC×C.A.P.×KIITO×F美クロストーク	2/11(木祝)~3/31(水)	WEB配信	127
合計 4事業4公演(内中止・延期:2事業2公演)				658
	事業名	日付	会場(施設名)	入場者数 (参加者数)
地域事業	ひらめきのたね 4月(田岡和也)(中止)	4/11(土)	1room	-
	田岡和也VOID展示(中止)	4/11(土)・12(日)	ギャラリー	-
	Rocket Gold Star 展示(中止)	6/1(月)~15(月)	ギャラリー	-
	ひらめきのたね 6月(Rocket Gold Star)(中止)	6/13(土)	1room	-
	新開地土曜マルシェ 4月(中止)	4/11(土)	1room	-
	新開地土曜マルシェ 6月(中止)	6/13(土)	1room	-
	遠山敦の世界展 -Atsushi Toyama's World Exhibition-	7/18(土)-8/2(日)	ギャラリー	811
	でっかあーい窓ガラスにみんなで絵を描こう!!	7/26(日)	1room	24
	ひらめきのたね vol.2 遠山さんといっしょに 鳥モビールをつくろう!!	8/2(日)	1room	15
	でっかあーい窓ガラスにみんなで絵を消そう!!	8/23(日)	1room	25
	rocket world 展	8/31(月)-9/13(日)	ギャラリー	623
	ひらめきのたね vol.3 the rocket gold starさんと2コマまんがを描こう!!	9/13(日)	1room	20
	新開地土曜マルシェ 7月(連携事業)(中止)	7/11(土)	1room	-
	新開地夏まつり/土曜マルシェ(連携事業)(中止)	8/1(土)-2(日)	1room	-
	新開地土曜マルシェ 9月(連携事業)	9/12(土)	1room	178
	KOBE CINEMA PORT フェス(商店街)	10/1(木)~11/1(日)	新開地・元町	5,828
ニッポン喜劇映画時代	10/3(土)	KAVCギャラリー	26	

地域事業	マッドマックス 怒りのデス・ロードから物語を学ぶ	10/4(日)	KAVCギャラリー	26	
	エレミの恋 上映&展示	10/9(金)~16(金)	KAVCギャラリー	510	
	オリジナルアニメーションをつくろう!	10/10(土)	KAVCギャラリー	10	
	でっかあーい窓ガラスにみんなで絵を描こう!!&消そう!! for CH	11/28(土)・12/26(土)	1room	9	
	田岡和也EXHIBITION「サンタが隠れてん。」	12/7(月)~25(金)	1room	897	
	ひらめきのたねvol.4「じぶんへのクリスマスプレゼントをつくろう!!」	12/13(日)	1room	5	
	新開地土曜マルシェ 10月(連携)	10/10(土)	1room	82	
	新開地土曜マルシェ 11月(連携)	11/14(土)	1room	138	
	新開地土曜マルシェ 12月(連携)	12/12(土)	1room	134	
	新開地冬まつり(連携)(中止)	12/5(土)・6(日)	新開地界限	-	
	1日体験 山猫団と踊ろう!	1/16(土)	KAVCホール	13	
	カブキモノ大興行	1/17(日)	KAVCホール/配信	88	
	rocket world 展 vol.2	1/9(土)~24(日)	ギャラリー	1,079	
	ひらめきのたねvol.5 2コマまんがを描こう!!	1/23(土)	1room	12	
	Marching KOBE クロストーク	2/11(木祝)	配信(YouTube)	-	
	新開地土曜マルシェ 1月(連携事業)	1/9(土)	1room	119	
	新開地土曜マルシェ 2月(連携事業)	2/13(土)	1room	121	
	新開地土曜マルシェ 3月(連携事業)	3/13(土)	1room	113	
	合計 35事業151公演(内中止・延期:9事業25公演)				10,906

## 6 神戸アートビレッジセンター (KAVC) 貸館・管理事業

### (1) 事業方針

- ①柔軟な施設運営と専門性の高いサービスの提供
- ②若手芸術家の支援及び地元地域団体との協働
- ③複合文化施設にふさわしい安全・安心な管理運営

### (2) 事業内容

新型コロナ感染症対策を受けて、年度当初からの臨時休館や2回目の緊急事態宣言による開館時間の短縮を行った。この影響により、開館日数は253日と例年を大きく下回り、貸館の総利用者数は、施設全体で前年度比53%減となった。宣言解除後は、利用料の返還対応と並行して、施設利用制限や感染拡大防止策等の防疫体制を強化することで、継続した開館を実現した。

#### ①柔軟な施設運営と専門性の高いサービスの提供

オンライン配信のニーズの高まりに応じて、配信技術と必要機材に関する基礎知識のアドバイスを外部人材から得ると同時に、国の補助金の活用による機材充実にも努めた。これにより、利用者のオンラインを活用した事業発信の相談・アドバイスにも対応可能なサポート体制を整えた。

#### ②若手芸術家の支援及び地元地域団体との協働

貸館利用が減少する中で、ホール利用経験の少ない利用者に対し、専門スタッフによる打合せや相談、アドバイスなどのサポートの充実に努めた。また、コロナ禍の中にあっても、1階のコミュニティスペース1roomでのチラシ設置や神戸アート

ビレッジセンターの公式サイト内での公演紹介など広報協力を通じて積極的な支援を行った。一方で、新開地周辺の地域団体との連携・協働によるイベントも回数が限定されたものの、地域の活性化に貢献した。

### ③複合文化施設にふさわしい安全・安心な管理運営

コロナ禍においても、安全な施設管理運営のための、日常点検、定期点検、法令点検を着実に実施した。令和2年度は、老朽化したエレベーターの改修を行ったほか、空調設備の改修工事を実施した。さらに、キャッシュレス決済に対応した機器を導入し、利用者へのサービス提供の向上を図った。

### (3) KAVC 利用状況表 (自主事業含む)

令和2年4月1日～令和3年3月31日

施設名	利用者数	踏入件数 (利用件数)	踏入率 (利用率)	前年度 踏入(利用率)
多機能ホール(KAVCホール)	12,603	122	57.9%	82.1%
		(334)	(52.8%)	(75.5%)
視聴覚ホール(KAVCシアター)	4,005	145	67.3%	75.0%
		(424)	(65.6%)	(71.1%)
リハーサル室(1・2)	10,045	343	71.6%	86.1%
		(550)	(38.3%)	(57.3%)
ギャラリー	9,742	189	74.8%	73.9%
		(567)	(74.8%)	(73.9%)
アトリエ	192	70	27.7%	28.6%
		(70)	(9.2%)	(8.8%)
スタジオ(1・2・3)	2,161	247	35.4%	51.2%
		(456)	(21.8%)	(31.0%)
会議室(1・2)	4,780	224	46.5%	54.5%
		(470)	(32.5%)	(36.4%)
貸館合計	43,528	1,340	51.7%	62.9%
		(2871)	(37.0%)	(45.9%)
1room入場者数	30,470			
総入場者数	73,998			

開館日数	253
------	-----

## 7 文化センター講座・地域連携事業

### (1) 事業方針

- ①長年別々の活動を展開してきた区民センター、勤労市民センター、北須磨文化センターを令和2年度に文化センターとして統合、講座事業及びイベントを統一して企画運営し地域住民と共に歩む文化センターとして文化活動ニーズに対応
- ②6か月の期間で実施していた講座事業を3か月に再構築して実施し、地域連携事業についても実施
- ③「文化センターサポーター」などによる事業運営への住民参画
- ④財団が有する文化事業運営ノウハウや、文化団体との人的ネットワークを活用

### (2) 事業内容

コロナ禍の影響で定例講座事業が春季（6か月間）休講となり、再構築をして秋から実施した。多くの自主事業が取り止めとなり、各センターでレッスンを重ね神戸文化ホールの舞台で発表する「市民の第九」についても初めて中止した。

一方で、新たに合流した各勤労市民センター、北須磨文化センターにて新しい顧客層開拓を兼ね地域の親子対象の人形劇を開催した。

#### ①講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツ等の講座について、「市民の入講しやすさ」を考え、年2回募集の定例講座を春・夏・秋・冬の4回募集に改め、令和2年度秋から実施した。また、伝統芸能の伝承等、公益財団法人として取り組む必要のある講座等にも配慮しつつ、新たな受講者の開拓も図るためオンライン講座を開設した。

#### ②地域連携事業（地域住民参加型のイベント及び地域文化活性化事業）

コロナ禍の影響は受けたが、夏以降に住民の「発表する」ニーズ及び専門家による芸術文化を「鑑賞する」ニーズに応える地域住民参加型の自主事業「イベント事業」や、各地域の歴史や伝統文化（北区文化センター「農村歌舞伎」など）、個性を生かしつつ、参加や鑑賞等、住民が芸術文化に触れたり、日頃磨いた技を発表したり（秋・冬講座の発表会など）、お互いに交流する機会となる「地域文化活性化事業」を企画実施した。

#### 【実施例（地域文化活性化事業）】

- 東灘区民センター KOSMA コンサート「夢のつづき」、歌っちゃいます今年も第九、フキジャズ発表会
- 北区民センター すずらんホール農村歌舞伎、すずらんコンサート V1o.57、バレンタインコンサート、すずらんホールシャンソンフェスティバル
- 須磨区民センター 琵琶と能管で奏でる須磨の歴史、須磨フィルクリスマスコンサート、第14回須磨区民寄席、須磨シネマ④「青い山脈」

#### ③CS 神戸との協働事業

神戸いきいき勤労財団から引き継いだ生涯学習事業に取り組む NPO 法人「CS 神戸（コミュニティーサポートセンター）」と、拠点のある灘区文化センターとの従来の協働事業を新たに兵庫区文化センターでも実施した。

(3) 事業実績

令和2年4月1日～令和3年3月31日

		東灘区 文化 センター	葺合 文化 センター	生田 文化 会館	北区 文化 センター	北神区 文化 センター	須磨区 文化 センター	西区 文化 センター	灘区 文化 センター	兵庫区 文化 センター	長田区 文化 センター	垂水区 文化 センター	北須磨 文化 センター	計
定例講座	講座数	103	-	-	142	177	93	289	183	144	196	235	24	1,586
	定員(人)	1,596	-	-	2,615	2,067	1,400	4,852	2,945	2,482	3,977	4,138	690	26,762
	応募者数(人)	1,367	-	-	1,630	1,788	931	3,815	2,502	1,898	2,894	3,638	344	20,807
	応募率(%)	85.7	-	-	62.3	86.5	66.5	78.6	85.0	76.5	72.8	87.9	49.9	77.7
	受講者数(人)	1,218	-	-	1,514	1,640	873	3,402	2,340	1,794	2,652	3,298	325	19,056
	受講率(%)	76.3	-	-	57.9	79.3	62.4	70.1	79.5	72.3	66.7	79.7	47.1	71.2
随時講座	講座数	15	1	2	22	17	-	-	-	7	1	-	25	90
	定員(人)	358	30	47	605	212	-	-	-	330	35	-	1,528	3,145
	受講者数	246	13	28	262	166	-	-	-	233	15	-	900	1,863
	受講率(%)	68.7	43.3	59.6	43.3	78.3	-	-	-	70.6	42.9	-	58.9	59.2
定例&随時講座 受講率(%)		74.9	43.3	59.6	55.2	79.2	62.4	70.1	79.5	72.1	66.5	79.7	55.2	69.9
前年度の 受講率(%)		78.6	78.2	74.4	78.5	87.3	67.7	78.4	-	-	-	-	-	78.2

		東灘区 文化セン ター	灘区 文化セン ター	葺合文化 センター	生田文化 会館	兵庫区 文化セン ター	北区 文化セン ター	北神区 文化セン ター	長田区 文化セン ター	須磨区 文化セン ター	北須磨 文化セン ター	垂水区 文化セン ター	西区 文化セン ター	12セン ター計	合同イベント	合計
演奏会	回数	2	0	1	7	0	2	3	1	5	4	0	1	26	0	26
	来場者数	284	0	65	635	0	432	370	270	474	365	0	170	3,065	0	3,065
演劇・ 伝統芸 能	回数	0	2	1	0	1	1	0	1	3	2	1	3	15	0	15
	来場者数	0	112	77	0	24	162	0	68	241	184	28	348	1,244	0	1,244
発表会	回数	2	0	0	2	0	2	3	0	0	0	0	2	11	0	11
	来場者数	430	0	0	200	0	180	893	0	0	0	0	280	1,983	0	1,983
その他	回数	1	2	8	3	4	3	4	5	2	1	3	1	37	0	37
	来場者数	37	547	3,435	1,170	158	1,439	281	319	358	28	210	129	8,111	0	8,111
合計	回数	5	4	10	12	5	8	10	7	10	7	4	7	89	0	89
	来場者数	751	659	3,577	2,005	182	2,213	1,544	657	1,073	577	238	927	14,403	0	14,403

## 8 文化センター貸館・管理事業

### (1) 事業方針

- ①料金割引制度や利用団体への広報・相談サポートなどの向上と積極的な広報活動による利用促進
- ②長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供

### (2) 事業内容

令和2年度4月～5月は休館措置で貸館はゼロとなり、6月から使用再開で7月は70%、8月～1月は90%近い前年比の回復率を示したが再度の緊急事態宣言を受け2月は65%、以降同レベルで低迷した。

コロナ禍において、感染防止に注力し消毒作業・換気・清掃・アクリル板設置・検温計設置、更に換気が不十分な部屋には空気清浄機を設置することで、市民が少しでも安心して利用しやすい環境を提供した。

(3) 文化センター利用状況表

令和2年4月1日～令和3年3月31日

※利用率：実利用率

		東灘区 文化 センター	葺合 文化 センター	生田 文化 会館	北区 文化 センター	北神区 文化 センター	須磨区 文化 センター	西区 文化 センター	灘区 文化 センター	兵庫区 文化 センター	長田区 文化 センター	別館 ビフレ ホール	垂水区 文化 センター	北須磨 文化 センター	合 計	
大ホール	利用者数	78,735	545	12,244	21,835	16,658	8,721	24,097	22,936	-	14,105	41,047	29,069	3,764	273,756	
	利用件数	356	9	204	300	228	145	273	493	-	115	225	198	202	2,748	
	利用率(%)	43.6%	10.8%	25.1%	36.9%	28.0%	17.8%	33.5%	59.8%	-	14.9%	28.6%	25.0%	26.2%	30.8%	
会議室	利用者数	41,692	17,990	14,046	29,797	34,058	23,004	45,916	31,647	37,878	30,375	13,402	44,304	7,358	371,467	
	利用件数	2,314	1,052	954	1,871	2,405	1,336	2,876	2,305	2,296	1,947	715	3,544	1,076	24,691	
	利用率(%)	46.1%	21.1%	19.1%	37.6%	41.6%	26.7%	49.4%	56.7%	28.7%	27.4%	29.8%	48.8%	19.4%	34.8%	
貸室利用 特目室	利用者数	25,374	1,635	10,889	3,410	9,810	18,722	21,522	30,945	15,633	16,444	20,170	14,831	9,095	198,480	
	利用件数	1,952	147	1,143	342	1,151	1,388	2,297	2,344	972	1,030	741	933	834	15,274	
	利用率(%)	34.2%	18.1%	20.1%	14.0%	23.6%	28.4%	35.3%	33.7%	25.4%	22.3%	24.5%	24.3%	15.5%	26.1%	
体育室	利用者数	-	-	24,345	47,385	-	-	-	23,406	休館		43,679	-	26,809	58,408	224,032
	利用件数	-	-	758	1,733	-	-	-	554	休館		1,589	-	1,323	2,123	8,080
	利用率(%)	-	-	93.1%	71.1%	-	-	-	96.5%	休館		53.7%	-	85.2%	91.8%	75.8%
合 計	利用者数	145,801	20,170	61,524	102,427	60,526	50,447	91,535	108,934	53,511	104,603	74,619	115,013	78,625	1,067,735	
	利用件数	4,622	1,208	3,059	4,246	3,784	2,869	5,446	5,696	3,268	4,681	1,681	5,998	4,235	50,793	
	利用率(%)	40.0%	20.5%	24.8%	39.8%	32.9%	26.8%	41.4%	45.8%	27.6%	30.3%	27.1%	44.6%	30.2%	34.1%	
前年度の利用率(%)		53.7%	34.9%	41.1%	55.1%	51.8%	40.8%	58.4%	60.4%	48.2%	49.5%	45.7%	62.0%	44.2%	50.5%	

※その他施設：ギャラリー、談話室、ロビーなど

(※収益事業含む)

## 9 広報事業

文化振興事業の市民への周知、文化芸術への市民参加の機会拡充、財団の収益向上等の観点から、財団の広報体制を確立するとともに、メディアの活用など多様な手段により、これまで以上に積極的に広報PRに努めた。

### (1) 神戸文化ホールからの情報発信強化

事業の中止が相次いだため一時的に一年間休刊した。

### (2) 文化センターからの情報発信強化

文化センターからの情報発信機能の充実強化を図るため、チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、文化センターだよりの発行、固定客・リピーター確保のための友の会運営に取り組んだ。

### (3) 神戸アートビレッジセンターの情報発信強化

	回数	発行部数	備考
マンスリーニュース	10	500部/月	KAVC で開催される自主事業、貸館事業のスケジュールをまとめたもの。 プレス等への発送と、KAVC 館内の設置・自主事業挟込等（毎月月末発行） ※緊急事態宣言に伴い4・5月号中止
ART VILLAGE VOICE	4	8,000部/季刊（年4回）	KAVC の催し物や、新開地周辺地区の情報掲載した広報誌（年4回発行） 会員を始め全国の美術館、劇場、映画館など文化施設への発送

### (4) インターネットによる情報発信

芸術文化に関する多様な情報を市民に提供することを目的として昭和57年より発行を続けた「KOBE C 情報」は、令和2年度から財団ウェブサイト、Twitter、Facebook、Instagram にリニューアルをした。また、市内の文化施設、イベント主催者、後援名義申請者の文化情報より簡単に発信いただけるように、財団ウェブサイト内に容易に入力可能な情報提供フォームを設置した。コロナ禍においても神戸の文化を絶やさないう、地域文化施設及び団体との広報連携を強化しながら情報発信を行った。

神戸文化ホール、神戸アートビレッジセンターの「ジャズの街神戸」推進協議会「JAZZ TOWN KOBE」、神戸国際フルーツコンクールなどのホームページで、積極的に発信をおこなった。さらに、旧勤労市民センターとの合併に伴い、スマートフォンでも閲覧しやすいデザインに財団ホームページを大幅リニューアルし、閲覧者の利便性向上を図った。定例講座の案内サイトでは、スタッフブログ開設や、写真を多く用いて視覚的訴求を強化し、講座受講生獲得の促進を行った。一方で、コロナ禍で事業や講座の中止や延期が続いたため、Facebook や Twitter、Instagram など即時性の高い SNS で迅速に情報発信を行った。

また、新型コロナウイルス感染拡大により、家で過ごす市民に楽しんでもらおうと、動画特集ページを公開した。過去の主催公演である「市民の第九」や「フルーツ 500 人アンサンブル」動画や、神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団が自宅などで撮影した動画を編集し、公開した。

財団ホームページ訪問者数	1,919,327人（月平均159,944人）
Facebook フォロワー数	6,841人
Twitter フォロワー数	5,002人
Instagram フォロワー数	1,390人

※SNSのフォロワー数は文化センター部及び事業部、KAVCの各の合計。

#### （５）広報・PRの強化

広報PR及び法人等への営業の専門部署として設置された営業企画課で、各事業のSNSアカウントを用いて、動画配信を行うなど独自のメディアを活用した事業広報を実施した。

また、ベートーヴェンの名言「苦悩を突き抜ければ、歓喜に至る」などを記した懸垂幕やポスターをホールや近くの市営地下鉄の駅などに設置し、励ましのメッセージを送った。

ホールの利用者や観客に安心感を与えるために、抗ウイルス・抗菌加工実施のチラシ・ポスターや、兵庫県新型コロナ追跡システムを、周知するオリジナルPOPを設置した。

## 収益事業

### <収益事業>

#### (1) 神戸文化ホール貸館・管理事業

神戸文化ホールにおいて、コンベンション等文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置や駐車場等神戸文化ホール利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要 大ホール、中ホール、リハーサル室、練習室 1～5、  
多目的室、特別控室

自動販売機 : 7 台

駐車場（神戸文化ホール練習場） : 10 台

【貸館利用件数】 大ホール 合計 97 件 うち収益 17 件  
中ホール 合計 148 件 うち収益 15 件

#### (2) 神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業

神戸アートビレッジセンターにおいて、地域の集会等文化活動以外を目的とする活動の場を提供した。また、自動販売機設置による利用者へのサービス向上を図った。

※施設概要 多機能ホール、視聴覚ホール、ギャラリー、リハーサル室 1～2、  
会議室 1～2、スタジオ 1～3、lroom 等

自動販売機 : 4 台

【貸館利用件数】 ホール 合計 334 件  
シアター 合計 424 件  
ギャラリー 合計 567 件  
リハーサル室 合計 550 件  
スタジオ 合計 456 件  
アトリエ 合計 70 件  
会議室 合計 470 件  
貸館合計 2,871 件 うち収益 187 件

#### (3) 文化センター講座・地域連携事業

当財団が指定管理者として管理運営する文化センターにて、美容・スポーツ等の文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催した。

※例 講座 : 健康体操、スポーツ吹矢、バドミントン、卓球、スイミング等  
自主事業 : コミュニティフェスティバル、卓球大会等

【定例講座件数】 合計 1,586 件 うち収益 394 件

【地域連携事業件数】 合計 51 件 うち収益 2 件

#### (4) 文化センター貸館・管理事業

指定管理者である文化センターにおいて、イベント等文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。また自動販売機設置や駐車場等文化センター利用者へのサービス向上を行う。

※施設概要 大ホール、会議室、多目的室、和室・音楽室・美術室・陶芸室、  
体育館、プール等

自動販売機 : 40 台

駐車場（北神区文化センター） : 123 台

【貸館利用件数】 合計 50,793 件 うち収益 18,937 件

## 法人管理運営事業（法人運営全体に関わる事業）

### （１）専門性の強化・効率的な執行体制の構築

民間会社のイベント運営のノウハウの修得を目指し、職員を「六甲ミーツアート」の事務局を担う六甲山観光株式会社に派遣する人的支援を行った。

### （２）経営基盤の強化

事業における更なる経費の見直し、アウトソーシングによる業務の効率化などを進めるとともに、「ベーターヴェン・チクルス」など公益性の高い事業に対して国等からの外部助成金の積極的な獲得を行った。

## 中期経営計画 2021 に基づく数値目標

### 【芸術文化の創造・発信】

	令和2年度目標	令和2年度実績	令和元年度実績
創造発信型事業の数	100	134	120

### 【普及啓発】

	令和2年度目標	令和2年度実績	令和元年度実績
アウトリーチ実施回数	35	96	130

### 【国際交流事業】

	令和2年度目標	令和2年度実績	令和元年度実績
海外芸術家等による公演等実施回数	15	0	11

### 【指定管理施設管理事業】

#### 1 神戸文化ホール

		令和2年度目標	令和2年度実績	令和元年度実績
利用率 (踏入率)	大ホール	82%	38.0%	75.9%
	中ホール	88%	58.5%	70.3%
利用率 (実利用率)	大ホール	72%	35.0%	66.0%
	中ホール	76%	50.7%	65.3%
利用者数	大中ホール	54万人	55,292人	415,333人
	練習室含む	60万人	77,994人	457,954人
利用者満足度 (施設全般について良い・概ね良い・普通)		95%	100%	96.9%
友の会 加入数	個人	1,900人	788人	1,137人
	法人	16社	0	0

## 2 神戸アートビレッジセンター

		令和2年度目標	令和2年度実績	令和元年度実績
利用率 (踏入率)	ホール	65.0%	57.9%	82.1%
	シアター	80.0%	67.3%	75.0%
	ギャラリー	80.0%	74.8%	73.9%
利用率 (実利用率)	ホール	65.0%	52.8%	75.5%
	シアター	80.0%	65.6%	71.1%
利用者数		183,700人	73,998人	176,283人
利用者満足度		85.0%	99.4%	99.1%

※利用者数には自主事業の利用者数も含む

## 3 文化センター

		令和2年度目標	令和2年度実績	令和元年度実績
利用率 (踏入率)	全体	79.5%	55.9%	68.7%
	うちホール	72.5%	52.6%	64.9%
利用率 (実利用率)	全体	51.5%	34.1%	45.5%
	うちホール	46.5%	30.8%	41.6%
講座受講者数		25,000人※	20,900人	24,200人
利用者満足度		95%	98%	95.7%

※R2年度目標については旧区民センター等の目標値

### 【財団管理・経営関係】

	令和2年度目標	令和2年度実績	令和元年度実績
経営目標（年度収支の均衡）	±0	▲96,124千円	28,401千円

### 3 令和2年度決算

#### (1) 事業別収支計算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日, 単位: 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
公益目的事業会計	1,649,793,110	公益目的事業会計	1,720,018,068
文化振興事業収入	120,586,664	文化振興事業支出	112,160,736
演奏事業関係収入	245,338,905	演奏事業関係支出	237,101,542
文化ホール公演事業収入	7,525,616	文化ホール公演事業支出	16,488,981
文化ホール貸館・管理事業収入	279,261,149	文化ホール貸館・管理事業支出	282,546,760
神戸アートビレッジセンター公演事業収入	11,384,476	神戸アートビレッジセンター公演事業支出	21,592,842
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	140,892,251	神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業支出	114,438,767
文化センター講座等事業収入	130,452,246	文化センター講座等事業支出	169,794,306
文化センター貸館・管理事業収入	689,772,011	文化センター貸館・管理事業支出	740,616,561
あじさいホール運営収入	24,579,792	あじさいホール運営支出	25,277,573
収益事業等会計	581,171,927	収益事業等会計	595,579,948
文化ホール貸館・管理事業収入	30,179,675	文化ホール貸館・管理事業支出	28,673,407
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	20,664,670	神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業支出	15,640,208
文化センター講座等事業収入	65,302,960	文化センター講座等事業支出	78,027,098
文化センター貸館・管理事業収入	465,024,622	文化センター貸館・管理事業支出	473,239,235
法人会計	71,523,350	法人会計	83,014,713
財団管理運営事業収入	67,311,214	財団管理運営事業支出	74,599,140
営業企画収入	4,212,136	営業企画支出	8,415,573
当期収入合計 (A)	2,302,488,387	当期支出合計 (B)	2,398,612,729
		当期収支差額 (A) - (B)	△ 96,124,342

\*神戸市からの収入

(1) 補助金 400,637千円

(2) 受託料 1,121,787千円

## (2) 正味財産増減計算書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日, 単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	0	0	334,254	334,254
文化事業収益	172,666,172	65,246,097	144,000	238,056,269
文化施設等運営収益	1,060,792	0	0	1,060,792
管理受託収益	902,927,390	403,030,977	0	1,305,958,367
施設利用料金収益	173,393,127	95,356,737	0	268,749,864
受取補助金等	399,652,629	17,538,116	70,939,670	488,130,415
受取寄付金	93,000	0	0	93,000
受取利息	0	0	726	726
雑収益	0	0	104,700	104,700
経常収益計	1,649,793,110	581,171,927	71,523,350	2,302,488,387
(2) 経常費用				
事業費	1,720,018,068	595,579,948	0	2,315,598,016
管理費	0	0	82,692,713	82,692,713
経常費用計	1,720,018,068	595,579,948	82,692,713	2,398,290,729
当期経常増減額	△ 70,224,958	△ 14,408,021	△ 11,169,363	△ 95,802,342
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額	0	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 70,224,958	△ 14,408,021	△ 11,169,363	△ 95,802,342
法人税、住民税及び事業税	0	322,000	0	322,000
当期一般正味財産増減額	△ 70,224,958	△ 14,730,021	△ 11,169,363	△ 96,124,342
一般正味財産期首残高	3,547,518	141,350,536	△ 81,732,994	63,165,060
一般正味財産期末残高	△ 66,677,440	126,620,515	△ 92,902,357	△ 32,959,282
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	200,000,000	0	0	200,000,000
指定正味財産期末残高	200,000,000	0	0	200,000,000
正味財産期首残高	203,547,518	141,350,536	△ 81,732,994	263,165,060
III 正味財産期末残高	133,322,560	126,620,515	△ 92,902,357	167,040,718

## (3) 貸借対照表

(令和3年3月31日現在, 単位: 円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	3,444,962	未払金	296,343,369
預金	323,914,095	前受金	166,405,563
未収金	96,094,237	預り金	40,437,772
前払金	994,376	賞与引当金	10,086,033
預け金	663,605		
流動資産合計	425,111,275	流動負債合計	513,272,737
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1) 基本財産		退職給付引当金	4,177,543
投資有価証券	216,910,000	固定負債合計	4,177,543
基本財産合計	216,910,000	負債合計	517,450,280
(2) 特定資産		III 正味財産の部	
退職給付引当資産	4,177,543	1. 指定正味財産	
特定資産合計	4,177,543	基本財産	200,000,000
(3) その他固定資産		指定正味財産合計	200,000,000
什器備品	5,721,150	(うち基本財産への充当額)	(200,000,000)
保証金	32,571,030	2. 一般正味財産	△32,959,282
その他固定資産合計	38,292,180	(うち基本財産への充当額)	(16,910,000)
固定資産合計	259,379,723	(うち特定資産への充当額)	(0)
		正味財産合計	167,040,718
資産合計	684,490,998	負債及び正味財産合計	684,490,998

## (4) 財産目録

(令和3年3月31日現在, 単位: 円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金		未払金	
手元有高	3,444,962	神戸市精算金、未払法人税等	296,343,369
普通預金		前受金	
三井住友銀行ほか1行	321,579,302	文化ホール利用料等	166,405,563
振替預金		預り金	
ゆうちょ銀行	2,334,793	自主事業入場料収入等	40,437,772
未収金	96,094,237	賞与引当金	10,086,033
前払金	994,376	流動負債合計	513,272,737
預け金	663,605		
流動資産合計	425,111,275		
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1) 基本財産		退職給付引当金	4,177,543
投資有価証券		固定負債合計	4,177,543
地方債等	209,482,246		
普通預金	7,427,754		
基本財産合計	216,910,000		
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	4,177,543		
特定資産合計	4,177,543		
(3) その他固定資産			
什器備品	5,721,150		
保証金	32,571,030		
その他固定資産合計	38,292,180		
固定資産合計	259,379,723		
		負債合計	517,450,280
資産合計	684,490,998	差引正味財産	167,040,718

## (5) 事業別収入明細書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日, 単位:円)

科 目	収 入	内 訳						
		事業収入	指定管理料等 収入	補助金収入	助成金収入	利用料金 収入	寄付金収入	その他収入
公益目的事業会計	1,649,793,110	173,726,964	902,927,390	335,985,874	63,666,755	173,393,127	93,000	0
文化振興事業収入	120,586,664	9,981,303	0	108,490,874	2,034,487	0	80,000	0
演奏事業収入	245,338,905	20,265,538	0	201,976,000	23,084,367	0	13,000	0
文化ホール公演事業収入	7,525,616	5,706,859	0	0	1,818,757	0	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	279,261,149	0	212,826,795	0	6,061,519	60,372,835	0	0
神戸アートビレッジセンター公演事業収入	11,384,476	6,821,435	0	2,000,000	2,563,041	0	0	0
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	140,892,251	0	132,152,454	0	1,937,137	6,802,660	0	0
文化センター講座等事業収入	130,452,246	129,891,037	0	0	561,209	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	689,772,011	0	557,948,141	0	25,606,238	106,217,632	0	0
あじさいホール運営収入	24,579,792	1,060,792	0	23,519,000	0	0	0	0
収益事業等会計	581,171,927	65,246,097	403,030,977	0	17,538,116	95,356,737	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	30,179,675	0	23,487,178	0	614,163	6,078,334	0	0
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	20,664,670	0	19,476,715	0	264,155	923,800	0	0
文化センター講座等事業収入	65,302,960	65,246,097	0	0	56,863	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	465,024,622	0	360,067,084	0	16,602,935	88,354,603	0	0
法人会計	71,523,350	144,000	0	64,651,000	6,288,670	0	0	439,680
管理運営事業収入	67,311,214	0	0	60,673,000	6,198,534	0	0	439,680
営業企画収入	4,212,136	144,000	0	3,978,000	90,136	0	0	0
合 計	2,302,488,387	239,117,061	1,305,958,367	400,636,874	87,493,541	268,749,864	93,000	439,680

## (6) 事業別支出明細書

(令和2年4月1日～令和3年3月31日, 単位: 円)

科 目	合 計	内 訳	
		人 件 費	物 件 費
公益目的事業会計	1,720,018,068	252,301,654	1,467,716,414
文化振興事業支出 (あじさいホール事業を含む)	137,438,309	32,504,895	104,933,414
演奏事業関係支出	237,101,542	28,068,006	209,033,536
文化ホール関係支出	299,035,741	46,653,237	252,382,504
神戸アートビレッジセンター関係支出	136,031,609	45,681,598	90,350,011
文化センター関係支出	910,410,867	99,393,918	811,016,949
収益事業等会計	595,579,948	72,118,150	523,461,798
文化ホール関係支出	28,673,407	4,726,980	23,946,427
神戸アートビレッジセンター関係支出	15,640,208	6,229,309	9,410,899
文化センター関係支出	551,266,333	61,161,861	490,104,472
法人会計	83,014,713	53,918,110	29,096,603
管理費等支出	74,599,140	49,646,088	24,953,052
営業企画支出	8,415,573	4,272,022	4,143,551
合 計	2,398,612,729	378,337,914	2,020,274,815

## (7)財務状況の推移

(単位：千円)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	元 → 2増減	
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部	当期経常増減額	9,135	29,462	▲ 95,803	▲ 125,265
		経常収益	2,008,052	2,100,508	2,302,488	201,980
		うち公益	1,588,261	1,662,589	1,649,793	▲ 12,796
		うち公益以外	419,791	437,919	652,695	214,776
		経常費用	1,998,917	2,071,046	2,398,291	327,245
		うち事業費（公益）	1,615,376	1,650,682	1,720,018	69,337
		うち事業費（公益以外）	314,775	348,616	595,580	246,964
		うち管理費（公益）	0	0	0	0
		うち管理費（公益以外）	68,766	71,748	82,693	10,945
		評価損益等	0	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0	0	
	経常外収益	0	0	0	0	
	経常外費用	0	0	0	0	
	法人税、住民税及び事業税	6,123	1,061	322	▲ 739	
	当期一般正味財産増減額	3,011	28,401	▲ 96,125	▲ 124,526	
	一般正味財産期首残高	231,753	234,764	263,165	28,401	
	一般正味財産期末残高	234,764	263,165	167,040	▲ 96,125	
	指定正味財産	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
		指定正味財産増加額	0	0	0	0
		指定正味財産減少額	0	0	0	0
うち一般正味財産への振替額		0	0	0	0	
指定正味財産期首残高		0	0	0	0	
指定正味財産期末残高		0	0	0	0	
正味財産期首残高	231,753	234,764	263,165	28,401		
当期正味財産増減	3,011	28,401	▲ 96,125	▲ 124,526		
正味財産期末残高	234,764	263,165	167,040	▲ 96,125		
貸借対照表（B/S）	資産合計	641,382	535,790	684,491	148,701	
	流動資産	399,750	297,470	425,111	127,641	
	固定資産	241,633	238,320	259,380	21,060	
	うち建物	0	0	0	0	
	負債合計	406,618	272,626	517,449	244,823	
	流動負債	404,901	269,445	513,273	243,828	
	うち短期借入金	0	0	0	0	
	固定負債	1,718	3,180	4,177	996	
	うち長期借入金	0	0	0	0	
	正味財産合計	234,764	263,165	167,040	▲ 96,125	
指定正味財産	200,000	200,000	200,000	0		
一般正味財産	34,764	63,165	▲ 32,960	▲ 96,125		

## V 令和3年度事業計画

### 1 概要

平成29年に改正された「文化芸術基本法」では、文化芸術の意義と価値を尊重しつつも、文化芸術そのものだけではなく、観光やまちづくり、国際交流、福祉、教育などと連携し、文化芸術により生み出されるさまざまな価値を活用することにより、心豊かな国民生活及び活力ある社会の実現に貢献することを目的としている。

また、神戸市においては令和3年4月に策定の「神戸2025ビジョン」（計画期間2021～2025年度）やその具体的施策として、市の文化芸術施策が目指す姿や基本的な方向性を示す指針となる「神戸市文化芸術推進ビジョン」が策定されており、当財団としてもこれらのビジョン等を踏まえ、市民とともに喜び合える文化事業を実施し、文化芸術の振興に引き続き取り組んでいく必要がある。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の見通しは不透明ではあるが、「第10回神戸国際フルートコンクール」や「オペラde神戸「椿姫」」などの大型事業に取り組んでいく。また、神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団の両楽団では新音楽監督を迎え演奏水準のさらなる向上とともに、集客力の強化を図る。さらに令和4年度以降を対象とする財団の中期経営計画の策定、新中央区文化センターや現文化ホールの指定管理の開始に向けて着実に準備を進めていく。

#### 【主な事業内容】

##### (1) 第10回神戸国際フルートコンクール

1985年の創設以来4年毎に開催し、国際舞台の第一線で活躍するフルーティストを数多く輩出するコンクールとして世界的に高く評価されている本事業の開催を通じて、世界中の有望な若きフルーティストを世界の楽壇に飛翔させるとともに音楽を通じて国際交流と友好親善を図ることに加え、「音楽のまち神戸」として文化の香り豊かなまちづくりを推進する。また、開催前、開催期間中を通じ、コンクールを核とした関連事業、音楽祭を実施することで、市民への浸透、還元および機運醸成を図る。

##### (2) オペラde神戸「椿姫」

新文化ホール整備後の芸術文化の創造・発信も見据え、神戸を中心に活動する音楽家や公募で選ばれた市民コーラス等との協働により、市民オペラを制作・開催することで、オペラの魅力を身近にまた幅広く市民に伝え、優れた文化芸術に触れる機会の充実を図る。また、令和3年度は兵庫県立芸術文化センターの協力を得て、指揮者として国際的に評価の高い佐渡裕氏を招聘し、制作・共演を通じて、ホールに求められる必要な知見、企画力、発信力等を磨き、次世代の文化芸術を担う人材を育成することで、神戸の文化水準の向上に資する公演とする。

##### (3) フィリップ・リドリー×白井晃「マーキュリー・ファー」

イギリスの劇作家フィリップ・リドリーが2005年に書き下ろした最先端戯曲を神奈川芸術劇場で芸術監督を務めるなど実績ある演出家/白井晃が演出する演劇公演。暴力と略奪がはびこる荒れ果てた世界であぶりだされる人間の本質とともに、生きること、愛することを渴望する人間の美しさが描かれる衝撃作。主演の兄弟を若い世代を中心に人気の高い吉沢亮と北村匠海が務める。世田谷パブリックシアターが製作し兵庫県芸術文化センター等でも実施される。話題性のある公演で新しい観客層を開拓するとともに、全国の主要な公共ホールとも連携し制作力を高めていく。

#### **(4) 新開地カブキモノ大興行 vol. 4**

令和2年度に予定していた「第3回新開地カブキモノ大興行」は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により「緊急事態 ver.」として、市民参加によるパレードをやめるなど内容を変更して実施したが、参加を楽しみにしていた方々も多かったことから、令和3年度に再度、新たな企画として、一般財団法人 地域創造「ダン活支援」の助成を受けて実施する。

## 2 事業計画

### 公益目的事業

#### 1 文化振興事業

##### (1) 事業方針

- ①市民の文化向上に資する質の高い鑑賞型事業の提供
- ②芸術文化による神戸ブランドの創造発信
- ③市民参加型芸術文化事業の充実
- ④地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援
- ⑤情報収集・提供の充実（多様な文化芸術の紹介）
- ⑥芸術文化を担う人材の育成

##### (2) 事業内容

###### ① 市民の文化向上に資する質の高い鑑賞型事業の提供

市民に感動を与え、感性や創造性を育む質の高い芸術を鑑賞出来る機会として、3年ぶり第4弾となる「オペラ de 神戸」歌劇「椿姫」を制作する。指揮者には過去2作品において監修協力に携わった世界的指揮者・佐渡裕氏を、また彼が音楽監督を務める兵庫芸術文化センター管弦楽団を招聘し、公募によるキャストらとともに市民オペラでありながらも、これまでより芸術性の高い公演を上演する。さらには関連事業として公開練習、学校へのアウトリーチ、ゲネプロ見学会等を実施し、身近な環境における優れた芸術鑑賞機会の提供を図る。

###### ② 芸術文化による神戸ブランドの創造発信

国際舞台の第一線で活躍するフルーティストを数多く輩出するコンクールとして世界的に高く評価され、歴史と権威のある「第10回神戸国際フルートコンクール」の開催を通じ、神戸ブランドの創造発信を行う。また、「ジャズの街神戸」推進協議会の事業では、「神戸ユースジャズオーケストラ」の運営や、ラジオ番組の制作・放送のほか「ジャズの街・神戸」を発信するためのイベント等に取り組む。

###### ③ 市民参加型芸術文化事業の充実

市民による芸術文化活動の発表機会を創出するため、「KOBE ミュージックポート」の取組みの一つとして市民参加による「大人数によるフルートアンサンブル」の動画制作を通じ、市民に音楽を楽しんでもらいながら、フルートコンクールを含めた「音楽祭」として盛り上げ、参加した市民にも発信の担い手になってもらう。

また、市民を含め出演者を広く募集して制作・上演する「オペラ de 神戸（再掲）」や、「シャンソン・ポピュレールコンクール」等の市民参加型事業を展開する。

###### ④ 地元芸術文化団体との協力関係の強化及び若手芸術家の発掘・支援

神戸文化の基盤となっている地元芸術文化団体の活動を支援するとともに、協力関係の強化を図る。また、「神戸市吹奏楽祭」、「JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL」等を通じて今後の神戸文化の担い手となる若手人材の育成を支援する。

### ⑤ 情報収集・提供の充実

神戸及びその近郊の様々な芸術文化活動を幅広く紹介する「KOBE C情報」の発信にSNSを活用する等、情報ネットワークが多様化した現代に対応するため、情報発信機能の強化を図る。

### ⑥ 芸術文化を担う人材の育成

各種事業の企画・実施を通じて、アートマネジメント能力の向上を図るなど、「担い手」としての養成・機会確保に努める。

## (3) 事業予定

事業名	開催時期	開催場所	入場者数	
「ジャズの街神戸」発信事業	4月～3月	神戸文化ホール 他	350	
神戸市吹奏楽祭（一部中止）	11/3	神戸文化ホール	2,500	
全日本シャンソン・ポピュレールコンクール	九州大会5/9 東京大会6/22 東北大会6/23 神戸大会7/10 中部大会5/30	全国5か所	800	
	セミファイナル8/7	うはらホール	250	
	ファイナル9/18	神戸文化ホール	600	
YAMANO BIG BAND JAZZ CONTEST西日本予選（中止）	6/6	神戸文化ホール	400	
音楽 神戸三曲協会演奏会等（一部中止）	9/5, 3/20	神戸文化ホール 他	600	
神戸フィルハーモニック定期演奏会等（一部中止）	1/15 11/13, 3/21	神戸文化ホール	3,000	
室内楽名曲シリーズ	6/27, 11/21	うはらホール 神戸文化ホール	800	
神戸ジャズ道場（中止）	8/5～8/7	神戸セミナーハウス	150	
JAPAN STUDENT JAZZ FESTIVAL	8/20～22	VTR開催	4,000	
第10回神戸国際フルートコンクール	8/26～9/5 3/22～3/28	オンライン 神戸文化ホール	4,000	
第10回神戸国際フルートコンクール関連事業	6月～3月	神戸文化ホール他	800	
KOBEミュージックポート	7月～3月	市内各所	3,000	
母親コーラス「モーブガレット交歓会」等	12/2, 3	神戸文化ホール	1,500	
オペラde神戸「椿姫」	1/7, 8	神戸文化ホール	3,000	
演劇 舞踊	神劇まわり舞台	4月～3月	市内各所	1,800
	こうべ全国洋舞コンクール（中止）	5/2～5/5	神戸文化ホール	3,500
文化振興事業合計			31,050	

## 2 演奏事業（神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団）

### （1）事業方針

- ①神戸文化ホールおよび文化センター等における質の高い演奏の提供
- ②演奏水準のさらなる向上
- ③広報強化、アウトリーチの実施による両楽団の周知
- ④自主公演への集客強化と新たな依頼公演の獲得

### （2）事業内容

#### ① 神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団

神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団では神戸文化ホールでの定期演奏会・合同演奏会において、新音楽監督による指揮・プロデュースにより演奏水準のさらなる向上とともに、音楽的アイデンティティを確立し集客力の強化を図る。また、文化センターでは解説付きやファミリー向けなど新たなファン層を獲得するため、趣向を凝らした演奏会を開催する。

#### 《神戸市室内管弦楽団 定期演奏会》

第 149 回	4 月 10 日（土）	鈴木秀美（指揮）
第 150 回	7 月 17 日（土）	鈴木秀美（指揮）、高木和弘（ソリスト/ヴァイオリン）
第 151 回	9 月 25 日（土）	鈴木秀美（指揮）
第 152 回	2 月 26 日（土）	鈴木秀美（指揮）

#### 《神戸市室内管弦楽団 ベートーヴェン・チクルス（第4回）》

6 月 27 日（日） 【2020.7月振替公演】	鈴木秀美（指揮）、白井圭（ソリスト/ヴァイオリン）
------------------------------	---------------------------

#### 《神戸市混声合唱団 定期演奏会》

9 月 11 日（土）	佐藤正浩（指揮）
3 月 5 日（土）	松村 努（指揮）

#### 《合同演奏会》

12 月 12 日（日）	鈴木秀美（指揮）
--------------	----------

#### ② 楽団の周知・魅力発信の取り組み

2つの楽団を持つ強みを活かし、合同公演を文化センターでも実施するほか、コンクール課題曲映像の収録・配信（無料）、商店街や集客力のあるショッピングモール等で積極的にまちなかコンサートを行い、楽団の周知および魅力を発信し、主催公演への集客や新たな依頼公演の獲得につながるよう、効果的なプログラムの検討および営業活動に取り組む。

また、次代を担う子ども達に対する鑑賞機会の提供のため、子どもと一緒に鑑賞できるコンサートを文化センターで実施するほか、小学生を神戸文化ホールに招待する「インリーチ事業」と、6年間で市内全小学校へ出張演奏を行う「アウトリーチ事業（3年目）」に地元の音楽家とも連携し継続して取り組んでいく。さらに、市内在住者が通う特別支援学校へのアウトリーチ（出張コンサート）も継続して取り組んでいく。

### (3) 事業予定

#### 【自主公演】

(単位：人)

事	業	名	開	催	時	期	開	催	場	所	入	場	者	数
神戸市室内管弦楽団	定期演奏会 (第149～152回)		4/10				神戸文化ホール (中)				350			
			7/17				神戸文化ホール (中)				350			
			9/25				神戸文化ホール (中)				350			
			2/26				神戸文化ホール (中)				350			
		ベートーヴェン・チクルス (第4回)		6/27			神戸文化ホール (中)				350			
	あなたに贈るコンサート		6/12				すずらんホール				200			
			11/20				うはらホール				250			
	こどもコンサート		7/31				うはらホール				250			
		8/1				なでしこホール				200				
	わがまちコンサート ピフレ		4/23・9/17・1/21			ピフレホール				450				
神戸市混声合唱団	定期演奏会		9/11				神戸文化ホール (大)				850			
			3/5				神戸文化ホール (大)				850			
	あなたに贈るコンサート		7/4				ありまホール				200			
			10/17				なでしこホール				200			
	こどもコンサート		3/27				灘区民ホール				200			
	わがまちコンサート ピフレ		6/4・8/6・2/18				ピフレホール				450			
合同	合同演奏会		12/12				神戸文化ホール (中)				350			
	あなたに贈るコンサート		5/22				神戸文化ホール (中)				350			
			1/9				ありまホール				200			
演奏事業合計											6,750			

### 3 神戸文化ホール公演事業

#### (1) 事業方針

- ①神戸文化ホールを拠点とした創造・発信事業の展開
- ②優れた舞台芸術の鑑賞機会の強化
- ③財団のネットワークを活用した市民・芸術家・文化団体・他地域の文化施設などとの交流や連携の強化

#### (2) 事業内容

##### ① 芸術創造・発信事業

神戸市室内管弦楽団及び神戸市混声合唱団の公演や神戸の文化発信の基盤である地元芸術団体、文化の担い手である若手芸術家に発表の機会を提供するとともに、市民の参加や地域及び他地域の文化施設との連携により、文化施設としての機能充実につながる事業を展開する。また「創造・発信」への取り組みをより発展させていくために、制作や技術面でのスタッフの能力向上に努める。

## ② 教育普及・育成事業

子どもたちや働き盛りの若い世代や様々な障がいを持つ人たちが楽しくホールに集い、交流し、アートに親しむフェスティバル型の事業「オータムジャンボリー2021 コブホランドへいらっしゃい」を実施する。同事業では体験型のワークショップを行ったり、難解なイメージの伝統芸能（能、狂言）事業では解説セミナーなども取り入れる。合わせて質の高い鑑賞公演では積極的にアンダー25や学生料金を設けて、未来を担う子どもたちや若い世代が舞台芸術に触れる機会を生み出していく。

また、市内の小学生を招待するインリーチ事業や芸術家が学校に出張するアウトリーチ事業を実施し、文化・芸術の普及に貢献する。

## ③ 鑑賞型事業

質の高い公演や、民間では実現しにくい公演などを中心に、優れた舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。

具体的には世田谷パブリックシアターが製作しイギリスの新進作家フィリップ・リドリー脚本、白井晃演出、吉沢亮主演の演劇「マーキュリー・ファー」や市川海老蔵主演の歌舞伎「古典への誘い」など注目度や話題性の高い新規プログラムに取り組む。

## (3) 事業予定

(一部再掲)

(単位：人)

事業名	開催時期	公演数	開催場所	入場者数	
芸術創造・発信事業				17事業20公演	12,650
神戸市室内管弦楽団定期演奏会	4/10	1	中ホール	350	
合同演奏会「あなたに贈るコンサート」	5/22	1	中ホール	350	
ベートーヴェン・チクルス ベートーヴェンの森 第4回公演	6/27	1	中ホール	350	
オカリナフェスティバルin神戸	7/10, 11	2	中ホール	800	
神戸市室内管弦楽団定期演奏会	7/17	1	中ホール	350	
神戸市混声合唱団 秋の定期演奏会	9/11	1	大ホール	850	
神戸市室内管弦楽団定期演奏会	9/25	1	中ホール	350	
和太鼓松村組 神戸公演	11/6	1	大ホール	1,000	
市民の第九	12/11	1	大ホール	1,000	
神戸市室内管弦楽団・神戸市混声合唱団 合同演奏会	12/12	1	中ホール	350	
貞松・浜田バレエ団 特別公演 くるみ割り人形	12/18, 19	2	大ホール	3,000	
青春落語道場『大倉亭』新春寄席	1/14	1	中ホール	500	
PRAY FROM KOBE Sing'n Pray KOBE2022	1/22	1	大ホール	600	
PRAY FROM KOBE	1/23	1	中ホール	600	
神戸市室内管弦楽団定期演奏会	2/26	1	中ホール	350	
神戸市混声合唱団 春の定期演奏会	3/5	1	大ホール	850	
貞松・浜田バレエ団 創作リサイタル33	3/19	1	中ホール	600	
第14回 神戸能	3/20	1	中ホール	400	
教育普及・育成事業				4事業9公演	9,050
オータムジャンボリー2021 「コブホランドへいらっしゃい」	10/2, 3	4	全館	1,000	
神戸文化ホールインリーチ事業	2/3, 4	4	大ホール	8,000	
第32回 神戸能 プレイベント	2月	1	リハーサル室	50	
鑑賞型事業				4事業4公演	3,850
市川海老蔵「古典への誘い」	9/18	1	大ホール	1,500	
ズーラシアンフィルハーモニー管弦楽団	11/23	1	大ホール	1,000	
マーキュリー・ファー	3/2	1	中ホール	750	
桂米朝一門会	3/6	1	中ホール	600	
神戸文化ホール公演事業合計				25事業33公演	25,550

## 4 神戸文化ホール貸館・管理事業

### (1) 事業方針

- ①弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供
- ②施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営
- ③文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援
- ④基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

### (2) 事業内容

#### ① 弾力的なホール運営と専門性の高いサービスの提供

年中無休、早朝仕込み・深夜撤収など、ニーズに応じた弾力的な運用を継続する。また、舞台スタッフによる専門性の高い舞台運営、ホスピタリティ溢れるホール運営で利用者をサポートする。

#### ② 施設利用者、来館者の意見を反映したホール運営

利用後のアンケートや「お客様の声BOX」でいただいたご意見・ご要望をもとに、ホール運営全般の改善に努める。

#### ③ 文化の発信拠点として地元芸術団体・若手芸術家を支援、広域からのホール利用の促進

抽選会における優先利用制度や練習利用の割引料金制度による地元芸術団体、若手芸術家の活動支援を継続する。また、令和2年中にコロナ感染対策として従来の抽選会方法を変更し、メールを用いた事前受付制の抽選会とすることで対面接触を減らし、遠方の利用希望者のホール利用の負担を減じる受付方法を継続して実施しアクセシビリティを向上させる。

#### ④ 基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営

設備全般にわたる日常的な点検の実施、不良箇所への速やかな対処に努め、神戸市の公共基幹ホールにふさわしい安全・安心な管理運営を行なう。とくに施設内の抗菌コーティングによりコロナ禍においても利用者への安全・安心な環境の提供を図る。

また、キャッシュレス決済（電子マネー）で利用料金やチケット代金の支払いが可能となる電子精算機の機器の整備や、ホールでのインターネット配信の為に光回線利用設備を整える等、利用者にとってより使いやすくなるサービスと設備を提供する。

## 5 神戸アートビレッジセンター (KAVC) 事業

### (1) 事業方針

- ①先進的な芸術文化の事業の実施
- ②アートの世界への入り口となるワークショップや講座等の実施
- ③市内外の文化施設や教育機関等との交流及び連携
- ④事業を通したまちの賑わいづくり及び活性化への寄与

### (2) 事業内容

#### ① 演劇・舞踊事業

関西の若手劇団をセレクトして紹介する KAVC FLAG COMPANY では、令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて延期となった2劇団を含む5劇団をラインナップする。また、アフタートーク、ワークショップと劇評の充実も行い、関西の劇場文化の底上げを図る。高校生を対象に

したGo! Go! High School Project も引き続き実施する他、令和2年度に開始したYouTubeで毎週火曜日に配信を行う「KAVC PLAY RADIO こやばなし」を7月まで継続し、年度前半の演劇企画の充実を図る。

## ② 美術事業

4回目となるART LEAP 2021は、ヴェトナム・ハノイのビンコム現代美術センターの芸術監督を務めた遠藤水城氏を迎える。これまで同様1人の審査員による1人(組)の中堅作家を選び、8-9か月の制作期間を経て、新作個展を開く。また若手作家を支援する展覧会を開催する。シルクスクリーンのワークショップを引き続き定期的に開催し、シルクスクリーンの普及と「###」の販売促進に努める。

## ③ 映像事業

大手映画館では上映されないが、質の高い映画を上映するアート系シアターとして、毎月2週間4作品を目安に新作上映を行う。また特集上映として、三船敏郎を取り上げる。三船は、中国で生まれ育ち、初めて日本の地を踏んだのが神戸であった。また、「英国ナショナルシアターライブ(NTL)」やその解説講座、興行映画プログラムに関連して行うトークなど、映画を観るだけでなく深めるプラスαの企画も引き続き実施していく。

## ④ 地域事業

前出の新開地カブキモノ大興行のほか、新開地や元町の映画館と一緒に商店街店舗とも連携して行う地域映画祭「KOBE CINEMA PORT フェス」も引き続き実施する。昨年度から始めた地域の子ども向けワークショップ「ひらめきのたね」は、講師のアーティストの作品を合わせて展示することで、身近なアーティストを紹介する場ともなっており、定期的実施していく。1roomの大きな窓ガラスに絵を描くワークショップは、参加者のみならず地元からも好評で、今年も夏バージョンと冬バージョンを実施する。

## (3) 事業予定

(単位：人)

事業名	開催時期	公演数	開催場所	入場者数
演劇・舞踊事業	12事業69公演			3,920
PM / 飛ぶ教室 「港でカモメがやすんでいる日はね、千帆ちゃん」 (延期)	4月2-4日	2	K A V C ホール	-
唐組「ビニールの城」	6月12~14日	3	湊川公園	300
遊気舎vol.48「E g i n g ☆ R o c k」	7月2日-4日	5	K A V C ホール	300
Gフォレスト「乱歩の嘘」	6/26・27	4	K A V C ホール	300
Go! Go! High School Project 2021	8月11-22日(WS) / 22日(公演)	2	K A V C ホール	150
KAVC FLAG COMPANY 「安住の地」	10月8日~11日	5	K A V C ホール	300
KAVC FLAG COMPANY 「小骨座」	12月17日~19日	5	K A V C ホール	300
KAVC FLAG COMPANY 「Star Machine Project」	1月28日~29日	5	K A V C ホール	300
KAVC FLAG COMPANY 「劇団不労社」	2月11日~13日	5	K A V C ホール	300
KAVC FLAG COMPANY 「かのうとおっさん」	3月11日~13日	5	K A V C ホール	300
KFC関連アフタートーク	期間内1回	5	KAVC ホール	300
KFC関連ワークショップ	期間内1回	5	リハーサル室など	50
演劇・ダンスのワークショップ	随時	2	リハーサル室など	20
KAVC PLAY RADIO	4月-5月毎週火曜日	16	YouTube	1,000
美術事業	5事業41日間			3,200
ART LEAP 2021	プレゼン7月25日 2月19日-3月13日	20	ギャラリー & 1Room シアター、スタジオ	2,000
若手芸術家支援企画	11月20日-12月5日	15	アトリエ、ギャラリー	1,000
シルクスクリーンワークショップ	随時	3	アトリエ	100
はじまりのみかたワークショップ	随時	3	アトリエ、1 r o o m	100
映像事業	11事業459上映回			3,876
KAVCシネマ(月4本×9か月)	通年	432	K A V C シアター	3,456
特集映画上映	8月予定	15	K A V C シアター	300
関連講座	4月6月8月予定	12	会議室ほか	120
音楽事業	2事業2公演			200
新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト 20周年記念コンサート	秋ごろ	1	K A V C ホール	200
新開地ミュージックストリート関連企画(中止)	-	1	K A V C ホール	-
地域事業・その他	21事業60公演/日間			1,810
ワークショップひらめきのたねシリーズ	6,8,10,12,3月	8	l r o o m	160
でっかーい窓ガラスにみんなで大きな絵を 描こう!!&消そう!!(夏)	描こう7月 消そう8月	2	l r o o m	60
CINEMA PORT フェス 2021	秋ごろ調整中	30	K A V C シアター、 K A V C ギャラリー	500
ダン活支援/第4回新開地カブキモノ大興行	11月10-14日 (WS/公演/パレード)	4	K A V C ホール、 新開地商店街	200
でっかーい窓ガラスにみんなで大きな絵を 描こう!!&消そう!!(冬)	描こう11月 消そう12月	2	l r o o m	60
新開地夏まつり、冬まつり(一部中止)	12月4日・5日	4	l r o o m、 新開地商店街	30
土曜マルシェ(一部中止)	毎月第2土曜日	10	l r o o m	800
KAVC自主事業合計	51事業(内中止5事業)	631	公演/日間	13,006

## 6 神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業

### (1) 事業方針

- ① 条例・規則に基づいた公平・公正な貸館サービスの提供
- ② 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応
- ③ 利便性の向上
- ④ 市民の芸術文化活動の促進・誘致
- ⑤ with コロナにおける「新しい生活様式」を考慮した貸館推進

### (2) 事業内容

#### ① 条例・規則に基づいた公平・公正な貸館サービスの提供

条例規則を基に「神戸アートビレッジセンター管理規程」を作成し、利用者に対して公平・公正なサービスを提供する。管理規程では条例規則で定められていない箇所を明確にし、恒常的に安定したサービスを引き続き提供する。

#### ② 利用者が安全・安心・快適に利用できる貸館運営・利用者対応

経験豊かな人材による貸館対応スタッフを配置すると共に、貸館マニュアルやOJTにより全職員が基本的な貸館対応を行い、お客様を待たせない体制を整える。また、施設の使用用途を「練習施設」「発表施設」の2つに分類し、それぞれの対応フォーマットをまとめ、利用者が安心して利用できる体制づくりを整える。「発表施設」では、予約段階から相談や打合せなどの専門知識を備えた施設運営スタッフが対応を行う。また、全国的に珍しいシルクスクリーン工房「アトリエ KAVC」の利用に関しては、技術スタッフを配置し、初心者利用からアーティストなどの多彩な表現に答えられる体制を整える。

#### ③ 利便性の向上

アンケート調査を元にした利用者ニーズを把握し、貸館の利便性向上を常に意識して運営を行う。貸館予約システム導入やSNSを活用した広報、積極的な情報公開を行い、利用者が快適に使うことのできる貸館運営を行う。その他、利用申請の受付、抽選方法など貸館事業における利便性向上のための取り組みを継続して行う。

#### ④ 市民の芸術文化活動の促進・誘致

貸館事業でも協力事業・提携事業・共催事業を検討し、地域にゆかりのあるアーティストや、市民の文化・教育普及につながる催しなどに対して貸館事業として支え、市民の芸術文化活動の促進につなげる。

#### ⑤ with コロナにおける「新しい生活様式」を考慮した貸館推進

長期化する新型コロナウイルス感染症対策において、新しい生活様式を考慮した貸館推進として「施設利用減免サービス」、「感染防止対策支援サービス」、「ICT活用技術支援サービス」、「広報・ネットワーク活用サービス等」を検討し、利用推進を図る。

## 7 文化センター講座・地域連携事業

### (1) 事業方針

- ① 「地域住民とともに歩む文化センター」として市民の文化活動ニーズに対応
- ② 講座事業や地域連携事業の実施

- ③ 「文化センターサポーター」などによる事業運営への住民参画
- ④ 財団が有する文化事業運営ノウハウや、文化団体との人的ネットワークを活用

## (2) 事業内容

### ① 講座事業

入門者・初心者対象の文化・教養・スポーツなどの講座を、令和2年度よりコロナウィルスの流行により春季・夏季・秋季・冬季の3ヶ月単位に変更。講師・受講生にコロナ感染対策に協力いただきつつ講座事業を継続し、「with コロナ」の中でも文化活動を楽しんでいただけるよう運営していく。また、一部センターでは再流行も視野に含めて開始した、オンライン講座を継続して実施。新たな受講者層の開拓を図るため、文化に造詣の深いお笑い芸人を写経講師として招聘するなど今後の新たな講座のスタイルも模索していく。

### ② 地域連携事業（地域住民参加型のイベント及び地域文化活性化事業）

各センターの特色を生かした住民参加型の事業に取り組むとともに、「だんじり」や「須磨琴」など地域の伝統文化や歴史を生かした事業を実施する。令和2年度より指定管理となった旧勤労市民センターを中心として、市の文化財課や博物館との連携事業を多数展開した実績を踏まえて、今年度も文化振興に関わる他施設との連携を強化していく。

また地域文化活性化事業として、従来の伝統文化や歴史を生かした事業に加え、神戸にゆかりのある音楽家や落語家を迎えた公演や、文化振興財団が事務局を担っている神戸ユースジャズオーケストラの公演を企画する等、今まで以上に色彩豊かな事業展開を行っている。

#### ※地域文化活性化事業の例

- 東灘 : ミュージックフェスタ
- 灘 : 人形劇「ルドルフとイッパイアッテナ」
- 兵庫 : 神戸ユースジャズオーケストラ演奏会
- 北 : すずらんホール農村歌舞伎
- 北神 : 小松英典バリトンリサイタル in ありまホール
- 長田 : ピフレ de アート
- 北須磨 : 桂あやめの落語会
- 西 : 神戸農村歌舞伎

### ③ 作品展示会・発表会

文化センターのギャラリーやロビー、ホール及び花時計ギャラリーにおいて、講座受講生をはじめとする市民の絵画、陶芸、写真などの作品展示会や舞踊、音楽等の発表会を実施する。

### ④ CS 神戸との協働事業

神戸いきいき勤労財団から引き継いだ生涯学習事業に取り組むNPO法人「CS 神戸（コミュニティーサポートセンター）」との協働事業を拠点のある灘区文化センターと兵庫区文化センターで実施する。

## 8 文化センター貸館・管理事業

### (1) 事業方針

- ①料金割引制度や利用団体への広報・相談サポートなどの向上と積極的な広報活動による利用促進
- ②長年培ったノウハウの活用による、安全・安心で快適な利用環境の提供

### (2) 事業内容

#### ① サービスと利便性の向上

例：休館日の祝日開館、インターネット予約受付、インターネット無料接続サービスの提供、利用料金の割引対象拡充、利用料金等のキャッシュレス決済の導入（令和3年8月予定）など

#### ② 地域文化団体との連携強化による情報発信や運営サポート支援

例：地域文化団体の利用料金割引拡充、貸館利用団体専用掲示板設置など

#### ③ 積極的な貸館セールス

例：「文化センターだより」発行、「友の会」・ホームページの活用  
入口付近設置の大型ディスプレイによる、空室状況の掲示

#### ④ 省エネルギーや環境を意識した設備管理

例：節電、環境保護の取り組みの日常業務への組み入れ

## 9 広報事業

財団事業の市民への周知、芸術文化への市民参加の機会拡充、財団の収益向上などの観点から、広報体制を確立するとともに、メディアの活用など多様な手段により、これまで以上に積極的な広報PRに努める。

### (1) 「KOBE C情報」の発信

芸術文化に関する多様な情報を市民に提供することを目的として昭和57年より発行を続けた文化情報誌「KOBE C情報」を令和2年度にリニューアルし、令和3年もSNS（Instagram公式アカウント）および財団ウェブサイトにて、市内及び近隣都市の幅広い文化情報をタイムリーに発信する。

### (2) 神戸文化ホールからの情報発信強化

神戸文化ホールの情報発信機能として昨年度は一年間休刊した情報誌「ほーるめいと」について、内容を刷新して発行（18,000部／隔月）する。またSNSを活用したメールマガジン、フェイスブック、ツイッターでの発信や、ホームページの内容の充実など若い職員の意見を取り入れながら発展させていく。

### (3) 文化センターからの情報発信強化

文化センターの情報発信機能の充実を図るため、チラシやホームページでの情報提供のほか、ポスティング、文化センターだよりの発行、友の会運営に取り組むとともにSNSを積極的に活用していく。

### (4) 神戸アートビレッジセンターの情報発信強化

情報発信機能を充実、強化するため、チラシやホームページ、SNSなど幅広い広報PRに努める。また広報誌「ART VILLAGE VOICE」の発行（季刊発行）、友の会「かぶっクラブ」の運営、神

戸市内の文化施設との連携など地域や他施設への定期的な情報発信に取り組む。舞台公演の有料配信のほか、トーク企画などはYouTubeで無料配信しており、インターネット上での情報発信を強化していく。

#### **(5) インターネットによる情報発信**

当財団が主催する主要事業などを幅広く紹介するとともに、管理している各施設の空室情報や講座の受講申込み、各種情報誌の内容をホームページに掲載する。

また、ツイッターやフェイスブック、インスタグラムなど多様なSNSを活用したリアルタイムの情報発信に積極的に取り組むとともに、動画共有サイト等による事業広報を展開する。

#### **(6) 広報PRの強化**

財団事業を総合的かつ横断的にプロモーションし、公演の入場者数や入場料収入の増加につなげていく。

また、話題性の高いコラボレーション番組の共同制作・放映、ラジオ番組作成、各種資料提供などマスコミを活用した情報発信に積極的に取り組む。

## **収益事業**

### **(1) 神戸文化ホール貸館・管理事業**

神戸文化ホールにおいて、コンベンションなど文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置や駐車場など神戸文化ホール利用者へのサービス向上を行う。

### **(2) 神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業**

芸術文化活動以外を目的とする活動の場の提供を図る。また自動販売機設置を行うほか、飲食店舗「はっちゃんの台所」など利用者へのサービス向上と地域の賑わいづくりにつながる1 roomの活用を行う。

### **(3) 文化センター講座・地域連携事業**

当財団が指定管理者として管理運営する文化センターにおいて、美容・スポーツなどの文化振興目的以外で利用者ニーズの高い講座や自主事業を開催する。

### **(4) 文化センター貸館・管理事業**

指定管理者である文化センターにおいて、イベントなど文化活動以外を目的とする活動の場を提供する。令和3年度7月より神戸市子ども家庭局の委託事業として貸会議室を中高生向けの自習室として開放。また自動販売機設置や駐車場等文化センター利用者へのサービス向上を行う。

## 法人管理運営事業（法人運営全体に関わる事業）

### （１）専門性の強化・効率的な執行体制の構築

芸術文化事業についての研修等の充実を図り、職員の知識の向上及び専門性の強化など人材育成に努めるとともに、優秀な職員を固有職員として登用する。

平成30年度から、職員研修を充実させ、職員に基礎実務研修や専門家を招聘した特別講義等を定期的に関催し、人材育成プログラムの充実を図っている。

令和3年度について、外部からの専門人材を登用し新文化ホールを見据えた演奏事業、文化ホール事業の強化を行うほか、イベント運営のノウハウ修得も目指し「六甲ミーツ・アート芸術散歩」の事務局を担う六甲山観光株式会社への人的支援を2年度に引き続き実施する。

### （２）経営基盤の強化

「中期経営計画2021」で定めた目標の実現に向け、事業を着実に実施していくためには、経営の安定が必須であることから、事業収入の確保のほか、公的及び民間団体からの助成金の獲得、税制優遇制度を活用した寄附など外部資金の獲得に向けて、これまで以上に力を入れて取り組む。

また、当財団事業について、改めて再構築の観点から徹底的な見直しを進めていくとともに、令和3年度よりセグメント会計を導入し、事業部毎の独立採算を目指す。

平成30年7月に地元経済界が立ち上げた芸術文化を支援する「神戸文化マザーポートクラブ」の事務局を当財団が担うことで、芸術文化界と地元経済界のつなぎ役を担うとともに、当財団としても経済界との関係を深め、当財団に対する企業協賛等支援の獲得を目指していく。

## 中期経営計画 2021 に基づく数値目標

### 【芸術文化の創造発信】

	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標
創造発信型事業の数	120	134	100

### 【普及啓発】

	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標
アウトリーチ等実施回数	130	96	35

### 【国際交流事業】

	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標
海外芸術家等による公演等実施回数	11	0	17

### 【指定管理施設管理事業】

#### 1 神戸文化ホール

		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標
利用率 (踏入率)	大ホール	75.9%	38.0%	82%
	中ホール	70.3%	58.5%	88%
利用率 (実利用率)	大ホール	66.0%	35.0%	72%
	中ホール	65.3%	50.7%	76%
利用者数	大中ホール	415,333人	55,292人	55万人
	練習室含む	457,954人	77,994人	61万人
利用者満足度		96.9%	100%	95%
友の会 加入数	個人	1,137人	788人	2,000人
	法人	0	0	18社

#### 2 神戸アートビレッジセンター

		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標
利用率 (踏入率)	ホール	82.1%	57.9%	65.0%
	シアター	75.0%	67.3%	80.0%
	ギャラリー	73.9%	74.8%	80.0%
利用率 (実利用率)	ホール	75.5%	52.8%	65.0%
	シアター	71.1%	65.6%	80.0%
利用者数		176,283人	73,998人	185,500人
利用者満足度		99.1%	99.4%	85.0%

### 3 文化センター

		令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標
利用率 (踏入率)	全体	68.7%	55.9%	80.0%
	うちホール	64.9%	52.6%	73.0%
利用率 (実利用率)	全体	45.5%	34.1%	52.0%
	うちホール	41.6%	30.8%	47.0%
講座受講者数		24,200 人	20,900 人	40,000 人
利用者満足度		95.7%	98%	95%

※令和3年度目標値は12センターでの目標値

#### 【財団管理・経営関係】

	令和元年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標
経営目標（年度収支の均衡）	+28,401 千円	▲96,124 千円	46,321 千円

### 3 経営改善の取り組み

コロナ禍の影響により、当財団はこれまでにない経営状況の悪化に直面した。With コロナ時代を乗り切るため、また After コロナ時代においてこれまでとは劇的に変化されると言われる文化芸術を取り巻く環境の中、当財団の運営を継続発展させてゆくため、神戸市と協議の上、以下2点を中心に事業運営体制の抜本的な見直しを行った。

#### 1. 演奏事業の再構築

演奏事業は、入場料収入のみでは収支均衡の確保が難しい側面もあるが、営業、広報及び演奏団体のマネジメントに優れた民間専門人材を幹部として登用し、演奏事業における質の向上と、戦略的な広報・営業等による収支の改善を同時に実現する取り組みを開始した。

#### 2. セグメント会計の導入

当財団で実施している複数の事業について、それぞれで収支の均衡を含む事業運営を行う会計手法を導入。民間人材の登用により、より効率的な運営に取り組んでいく。

これらの見直しより、下記の経営改善の実現をはかっていく。

#### (1) 集客及び利用の促進

##### ①公演等事業

良質で特色のある芸術文化プログラムを市民に提供するという劇場法の趣旨に基づき、神戸文化ホールにおいて、運営体制が一新された神戸市室内管弦楽団及び神戸市混声合唱団等による公演をより魅力あるものに強化していく。また、第10回となるフルートコンクールを開催し、コンクールを核とした関連事業、音楽祭を実施する。さらに、他都市の公共ホールとの連携で実現させる舞台演劇「マーキュリー・ファー」など、話題性のある公演を行う事で新しい観客層を開拓するなど、鑑賞芸術の新たな魅力を発信する。

また、市内の全小学生にむけたアウトリーチ・インリーチ事業の継続実施や、文化センターにおいても親子参加型イベントを実施するなど、次世代の鑑賞者の裾野拡大にも力をいれていく。

##### ②貸館利用

利用者ニーズにきめ細かく対応するためキャッシュレス化やICTを活用した利用登録や貸館申し込み方法の改善を行うほか、貸館施設をより安全・安心に利用していただけるよう「withコロナ」に対応した工夫、取り組みを行う。また、舞台技術などに関する専門的かつ確かなアドバイスにより、利用者が行う舞台表現のレベル向上に貢献する等、利用者の満足度向上を図り、リピーター確保に繋げていく。

#### (2) 効率的な運営体制の構築

##### ①外部資金の積極的獲得

文化庁を始めとする外部助成金の必要性が更に増している。また、その他民間団体、企業が行っている助成制度や民間企業からの協賛など、文化事業を支えるための多様な資金調達手段の開拓が不可欠である。民間専門人材の知見やネットワークも最大限活用しつつ、外部資金の積極的な獲得に取り組んでいく。

##### ②事業執行の効率化

ワークフローの電子化など、遅れていた内部事務のIT化に着手し、併せてIT化に対応した組織体制とすることで、事務処理の効率化を推進する。また、外部の知見を活用し、個々の事業において発生する経費の見直しをさらに進めるなど、コスト削減に向けた取り組みも強化することで、収支の改善につなげていく。

## 4 令和3年度予算

### (1) 事業別収支予算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日, 単位: 千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
公益目的事業会計	2,090,913	公益目的事業会計	2,094,461
文化振興事業収入	150,699	文化振興事業支出	147,474
演奏事業関係収入	254,084	演奏事業関係支出	249,084
文化ホール公演事業収入	96,350	文化ホール公演事業支出	97,059
文化ホール貸館・管理事業収入	217,248	文化ホール貸館・管理事業支出	251,590
神戸アートビレッジセンター公演事業収入	14,423	神戸アートビレッジセンター公演事業支出	26,758
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	145,593	神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業支出	133,824
文化センター講座等事業収入	359,591	文化センター講座等事業支出	346,646
文化センター貸館・管理事業収入	830,485	文化センター貸館・管理事業支出	819,584
あじさいホール運営収入	22,440	あじさいホール運営支出	22,442
収益事業等会計	664,116	収益事業等会計	614,025
文化ホール貸館・管理事業収入	100,627	文化ホール貸館・管理事業支出	60,012
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	8,637	神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業支出	7,941
文化センター講座等事業収入	149,666	文化センター講座等事業支出	146,204
文化センター貸館・管理事業収入	405,186	文化センター貸館・管理支出	399,868
法人会計	101,941	法人会計	102,163
財団管理運営事業収入	89,301	財団管理運営事業支出	89,523
営業企画収入	12,640	営業企画支出	12,640
当期収入合計 (A)	2,856,970	当期支出合計 (B)	2,810,649
		当期収支差額 (A) - (B)	46,321

\* 神戸市からの収入  
 (1) 補助金 402,446千円  
 (2) 受託料 1,171,846千円

## (2) 予定正味財産増減計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日, 単位: 千円)

科目	金額	
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
基本財産受取利息	334	
文化事業収益	631,067	
文化施設等運営収益	0	
管理受託収益	1,174,709	
施設利用料金収益	533,067	
受取補助金等	517,687	
受取寄付金	0	
受取利息	106	
雑収入	0	
経常収益計		2,856,970
(2) 経常費用		
事業費	2,708,486	
管理費	101,102	
経常費用計		2,809,588
当期経常増減額		47,382
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計		0
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計		0
税引前当期一般正味財産増減額		47,382
法人税、住民税及び事業税		1,061
当期一般正味財産増減額		46,321
一般正味財産期首残高		△32,959
一般正味財産期末残高		13,362
II 指定正味財産増減の部		
(1) 基本財産運用益		
基本財産受取利息		0
(2) 一般正味財産への振替額		
一般正味財産への振替額		0
当期指定正味財産増減額		0
指定正味財産期首残高		200,000
指定正味財産期末残高		200,000
当期正味財産増減額		0
正味財産期首残高		213,362
III 正味財産期末残高		213,362

## (3) 予定貸借対照表

(令和4年3月31日現在, 単位: 千円)

科 目	金額	科 目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	3,444	未払金	237,163
預金	393,332	前受金	166,406
未収金	33,626	預り金	40,437
前払金	994	賞与引当金	20,172
預け金	663	流動負債合計	464,178
流動資産合計	432,059		
2. 固定資産		2. 固定負債	
(1) 基本財産		退職給付引当金	8,355
定期預金	6,910	固定負債合計	8,355
投資有価証券	210,000	負債合計	472,533
基本財産合計	216,910	III 正味財産の部	
(2) 特定資産		1. 指定正味財産	
特定資産合計	0	基本財産	200,000
(3) その他固定資産		指定正味財産合計	200,000
什器備品	4,354	(うち基本財産への充当額)	(200,000)
保証金	32,572	2. 一般正味財産	13,362
その他固定資産合計	36,926	(うち基本財産への充当額)	(16,910)
固定資産合計	253,836	(うち特定資産への充当額)	(0)
		正味財産合計	213,362
資産合計	685,895	負債及び正味財産合計	685,895

#### (4) 事業別予定収入明細書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日, 単位: 千円)

科 目	収 入	内 訳						
		事業収入	指定管理料等 収 入	補助金収入	助成金収入	利用料金収入	寄付金収入	その他収入
公益目的事業会計	2,090,913	473,361	837,409	310,945	113,281	355,917	0	0
文化振興事業収入	150,699	25,535	0	73,721	51,443	0	0	0
演奏事業関係収入	254,084	24,300	0	212,784	17,000	0	0	0
文化ホール公演事業収入	96,350	54,462	0	0	41,888	0	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	217,248	0	101,159	0	0	116,089	0	0
神戸アートビレッジセンター公演事業収入	14,423	9,473	0	2,000	2,950	0	0	0
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	145,593	0	135,209	0	0	10,384	0	0
文化センター講座等事業収入	359,591	359,591	0	0	0	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	830,485	0	601,041	0	0	229,444	0	0
あじさいホール運営収入	22,440	0	0	22,440	0	0	0	0
収益事業等会計	664,116	149,666	337,300	0	0	177,150	0	0
文化ホール貸館・管理事業収入	100,627	0	30,559	0	0	70,068	0	0
神戸アートビレッジセンター貸館・管理事業収入	8,637	0	8,021	0	0	616	0	0
文化センター講座等事業収入	149,666	149,666	0	0	0	0	0	0
文化センター貸館・管理事業収入	405,186	0	298,720	0	0	106,466	0	0
法人会計	101,941	8,040	0	91,501	0	0	0	2,400
財団管理運営事業収入	89,301	0	0	86,901	0	0	0	2,400
営業企画収入	12,640	8,040	0	4,600	0	0	0	0
合 計	2,856,970	631,067	1,174,709	402,446	113,281	533,067	0	2,400

## (5) 事業別予定支出明細書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日, 単位: 千円)

科 目	合 計	内 訳	
		人 件 費	物 件 費
公益目的事業会計	2,094,461	284,058	1,810,403
文化振興事業支出(あじさいホール事業を含む)	169,916	32,636	137,280
演奏事業関係支出	249,084	42,800	206,284
文化ホール関係支出	348,649	44,557	304,092
神戸アートビレッジセンター関係支出	160,582	53,284	107,298
文化センター関係支出	1,166,230	110,781	1,055,449
収益事業等会計	614,025	66,001	548,024
文化ホール関係支出	60,012	9,096	50,916
神戸アートビレッジセンター関係支出	7,941	3,161	4,780
文化センター関係支出	546,072	53,744	492,328
法人会計	102,163	63,722	38,441
財団管理運営事業支出	89,523	59,213	30,310
営業企画課支出	12,640	4,509	8,131
合 計	2,810,649	413,781	2,396,868

## VI 令和2年度主要事業計画・実績比較表

### 文化センター講座事業（講座受講者数）

施設名	受講者数（人）		
	計画	実績	増減
東灘区文化センター	3,250	1,464	△ 1,786
灘区文化センター	—	2,340	—
葺合文化センター	1,800	13	△ 1,787
生田文化会館	2,750	28	△ 2,722
兵庫区文化センター	—	2,027	—
北区文化センター	3,750	1,776	△ 1,974
北神区文化センター	3,850	1,806	△ 2,044
長田区文化センター	—	2,667	—
須磨区文化センター	2,800	873	△ 1,927
北須磨文化センター	—	1,225	—
垂水区文化センター	—	3,298	—
西区文化センター	6,800	3,402	△ 3,398
計	25,000	20,919	△ 4,081

※令和2年度目標については旧区民センター等の目標値

### 芸術文化事業

事業名	入場者数（人）		
	計画	実績	増減
文化振興事業	35,700	3,636	△ 32,064
音楽事業	29,100	3,285	△ 25,815
演劇・舞踊事業等	5,400	351	△ 5,049
その他	1,200	—	—
演奏事業	12,800	6,097	△ 6,703
室内管弦楽団公演	5,950	4,066	△ 1,884
混声合唱団公演	3,650	1,098	△ 2,552
合同公演	3,200	933	△ 2,267
神戸文化ホール事業	47,090	7,465	△ 39,625
芸術創造・発信事業	17,450	6,628	△ 10,822
教育普及・育成事業	22,240	180	△ 22,060
鑑賞・学習事業	7,400	657	△ 6,743
神戸アートビレッジセンター事業	12,366	22,804	10,438
演劇・舞踊事業	3,300	4,943	1,643
美術事業	3,380	3,197	△ 183
映像事業	3,876	3,100	△ 776
音楽・地域事業	1,810	11,564	9,754

### 施設毎入場者

（人）

施設名	計画	実績	増減
神戸文化ホール（練習室含む）	600,000	77,994	△ 522,006
神戸アートビレッジセンター	183,700	73,998	△ 109,702
文化センター	2,583,300	1,067,735	△ 1,515,565

## VII 主要事業の推移(平成30年度～令和2年度)

### 区民センター講座事業 (講座受講者数)

施設名	受講者数(人)				
	30年度	元年度		2年度	
	実績	実績	対前年比	実績	対前年比
東灘区文化センター	3,243	3,461	106.7%	1,464	42.3%
灘区文化センター	—	—	—	2,340	—
葺合文化センター	1,550	1,412	91.1%	13	0.9%
生田文化会館	2,795	2,483	88.8%	28	1.1%
兵庫区文化センター	—	—	—	2,027	—
北区文化センター	3,537	3,535	99.9%	1,776	50.2%
北神区文化センター	3,958	4,181	105.6%	1,806	43.2%
長田区文化センター	—	—	—	2,667	—
須磨区文化センター	2,579	2,380	92.3%	873	36.7%
北須磨文化センター	—	—	—	1,225	—
垂水区文化センター	—	—	—	3,298	—
西区民センター	6,761	6,724	99.5%	3,402	50.6%
計	24,423	24,176	99.0%		0.0%

※旧勤労市民センター、北須磨文化センターについては令和2年度の実績のみ記載

### 芸術文化事業

事業名	入場者数(人)				
	30年度	元年度		2年度	
	実績	実績	対前年比	実績	対前年比
文化振興事業	53,920	56,998	105.7%	3,636	6.4%
音楽事業	47,962	52,143	108.7%	3,285	6.3%
演劇・舞踊事業等	4,423	3,778	85.4%	351	9.3%
その他	1,535	105,173	6851.7%	—	—
演奏事業	13,642	11,256	82.5%	6,097	54.2%
室内管弦楽団公演	5,605	4,086	72.9%	4,066	99.5%
混声合唱団公演	4,769	5,023	105.3%	1,098	21.9%
合同公演	3,268	2,147	65.7%	933	43.5%
神戸文化ホール事業	40,118	58,010	144.6%	7,465	12.9%
芸術創造・発信事業	6,151	14,741	239.7%	6,628	45.0%
教育普及・育成事業	21,188	18,416	86.9%	180	1.0%
鑑賞型事業	12,779	24,853	194.5%	657	2.6%
神戸アートビレッジセンター事業	24,367	24,497	100.5%	22,804	93.1%
演劇・舞踊事業等	8,204	8,094	98.7%	4,943	61.1%
美術事業	2,677	933	34.9%	3,197	342.7%
映像事業	5,521	5,860	106.1%	3,100	52.9%
音楽・地域事業	7,965	9,610	120.7%	11,564	120.3%

### 施設毎入場者数

(人)

施設名	30年度	元年度		2年度	
	実績	実績	対前年比	実績	対前年比
神戸文化ホール(練習室含む)	443,773	457,954	103.2%	77,994	17.0%
神戸アートビレッジセンター	176,283	156,441	88.7%	73,998	47.3%
区民センター	1,463,286	1,429,151	97.7%	1,067,735	74.7%

